MIYAGI UNIVERSITY 2015 大学案内

宮城大学

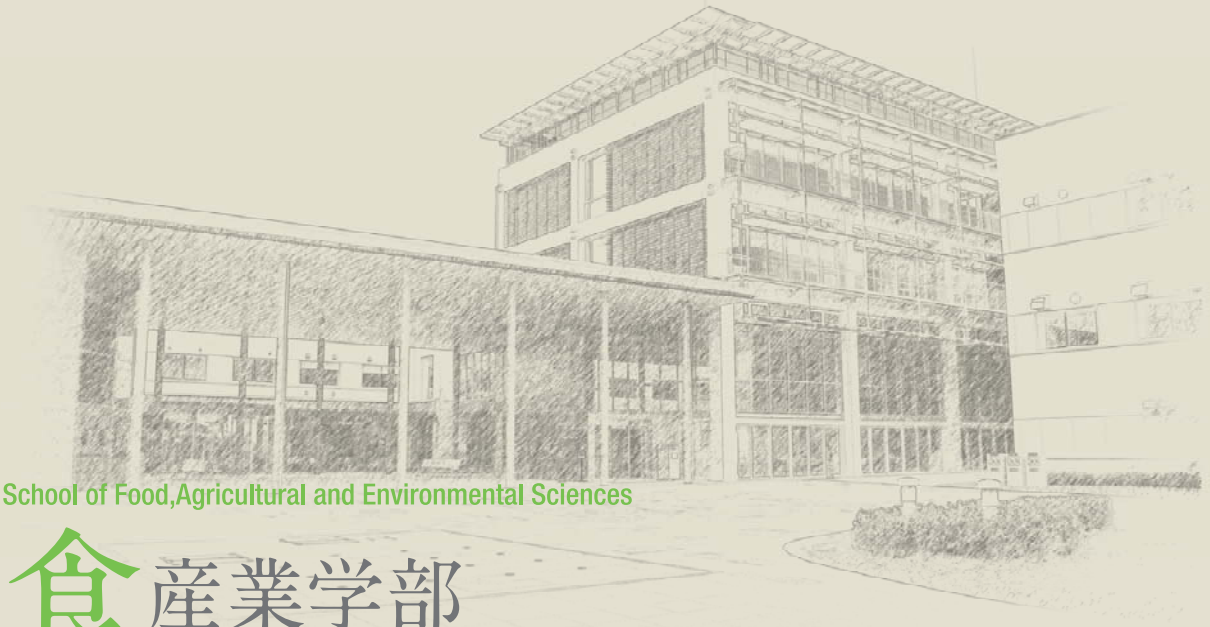


School of Nursing

看護学部

School of Project Design

事業構想学部



School of Food,Agricultural and Environmental Sciences

食産業学部

www.myu.ac.jp/

「いま」を生きる知恵を磨く、最適な大学をめざして

理念

精神：ホスピタリティとアメニティ

使命：高度な実学による地域貢献

方針：地域に根ざし世界に開かれた大学



宮城大学は、
地域のニーズや課題に答えられる人材の養成を目標とし、
宮城県が設立した公立大学です。

ホスピタリティ精神とアメニティ感覚に溢れ、
高度な専門性と実践的能力を身につけた、
地域の発展をリードし、世界に貢献できる人材を育成することをとおして、
学術・文化の向上と豊かで活力のある地域社会の形成に寄与すること
——それが、宮城大学の建学の理念です。
しっかり勉学に励むことができ、
人間性と社会人としての基礎力を養うことができる宮城大学で、
「いま」を生きる知恵を磨き、確かな未来への力を身につけてください。



宮城大学　大学案内 2015

学長メッセージ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
宮城大学　学びの特徴 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
宮城大学　ここが魅力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
学部 INDEX ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

看護学部
学部長メッセージ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
―― 看護学科

事業構想学部
学部長メッセージ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
―― 事業計画学科
―― デザイン情報学科

食産業学部
学部長メッセージ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
―― ファームビジネス学科
―― フードビジネス学科
―― 環境システム学科

共通教育／キャリア支援／
グローバル人材育成／地域連携 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
キャンパスライフ紹介 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
大学院案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
入試ガイド／入学金・学費／資料請求 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63

沿革

昭和 27 年 4 月　宮城県農業短期大学開学
平成 5 年 4 月　宮城県企画部県立大学設置準備室設置
平成 5 年 6 月　宮城大学創設準備委員会設置
平成 5 年 7 月　宮城県総合計画の戦略的プロジェクトの一つとして、県立宮城大学の整備を明示
平成 6 年　自治省行財政協議及び文部省事前協議
平成 8 年 12 月　宮城大学条例制定／宮城大学設置認可
平成 9 年 4 月　宮城大学開学［看護学部・事業構想学部］
平成 13 年 4 月　宮城大学大学院（修士課程）設置［看護学研究科・事業構想学研究科］
農業短期大学 4 年制化基本構想検討委員会を設置
平成 17 年 4 月　宮城大学食産業学部設置
平成 20 年 4 月　宮城大学大学院（博士課程）設置［事業構想学研究科］
平成 21 年 4 月　公立大学法人宮城大学設立
宮城大学大学院（修士課程）設置［食産業学研究科］
平成 22 年 4 月　宮城大学大学院（博士課程）設置［看護学研究科］
平成 25 年 4 月　宮城大学大学院（博士課程）設置［食産業学研究科］

宮城大学で、生きる知恵を磨いてみないか
いまを生きる「前後際断」

宮城県が新たに設置した宮城大学も早いもので、二年後に開学20周年を迎えることになりました。開学時には短期大学であった県立農業短期大学も新たに四年制の食産業学部として統合されて、本年に10周年を迎えることになりました。この短期大学は戦後間もない昭和27年に開学した県立の最初の高等教育施設です。卒業生の皆さん方は、農業分野だけでなく、幅広く県内の様々な領域で活躍されています。

このような歴史を持つ宮城大学は、大震災からの未来ある復興を目指して、宮城県や東北の明日を担う、有為な人材を数多く輩出できる大学を目指して、大学改革に積極的に取り組んでいます。

大学への進学を計画している皆さん方は、何を大学で学ぼうとしていますか。将来の人生を見据えたとき、何を身に着けておくべきかを考えていますか。ただなんとなく大学に進学するのでは、先々後悔することになるでしょう。大きな志をもって、夢を実現し自分の人生をより豊かなものにする知恵を大学でぜひ学び取ってほしいと考えています。

宮城大学の改革の中心は、提供する教育内容の改革です。大学に来て講義を聞いて試験を受けるといった一方的な教育システムは、これからの時代では通用しないものになってきています。学生が主体的に学び、それを教育システムが支援するような体制が望まれています。未知なるものにあくなき関心や好奇心を持って挑戦し続ける、アクティブ・ラーニングの手法を取り入れたカリキュラムの構築を準備しています。

どの大学への進学を考えるか、われわれの人生は誕生したときから常に選択するようになっているのです。生きるということは、その都度、程度に差はあっても選び続けることと考えてもよいのかもしれません。この判断をするときの心構えを説いた人がいます。

禅宗の曹洞宗開祖とされる、道元禅師（1200年～1253年）が残した著述に『正法眼蔵』が知られています。これは本論75巻補遺12巻に及ぶ、道元の思想を独り言のように述べた著作とされています。その中で「現成公案」という項がありますが、その中に「前後際断」と題された文脈があります。この言葉は、その後も剣豪の宮本武蔵や沢庵和尚などに使われるようになりました。

この言葉は、どのような意味があるのでしょうか。人が生きている時間は、過ぎ去った過去といずれ来る見知らぬ未来とのはざまに位置しています。この「いま」という時間を、懸命に生きることを勧めていると考えられます。

宮城大学で学ぶ「いま」を経験し、脇目も振らず勉学に邁進する人に、最適な「場」を宮城大学は作り出していきます。

宮城大学長 西垣 克



専門性を支える人間・社会人としての基礎力を身につけ、地域・社会ニーズに貢献できる実践力を養う４年間。

専門性を支える基礎力を身につける学び
「教養教育」の重視

専門性を支える基礎力＝人としての教養を重要視し、「人間力を養うこと」「知的素養を学ぶこと」「思考力を身につけること」を目的に、全学部共通の「共通教育科目」を設けています。

・リメディアル教育：学び続けていく上で基本となる自然科学的な見方や考え方、基礎となる知識や理解を培う科目
（数学基礎、物理基礎、化学基礎、生物基礎）
・リベラルアーツ：人間形成・鍛錬をうながす科目
（日本の歴史・文化、哲学、音楽、健康科学など）
・語学、情報リテラシー、人間形成科目、人文・社会科学、基礎科学、特別講義など



人間力と実践力を磨き、希望進路を実現する学び
「多面的な充実したカリキュラム」と「広がる学びのフィールド」

各学部・学科とも、地域社会においてそれぞれ活躍できるスペシャリストとしての知識と技能を習得してもらうために、各分野で求められる基礎から実践まで、実習や演習を重視した科目編成にしています。また、地域に根ざし、地域に開かれた“知の拠点”として、他大学や自治体、企業などとの連携により各種活動をするゼミやプロジェクトも数多くあることも宮城大学の特徴です。



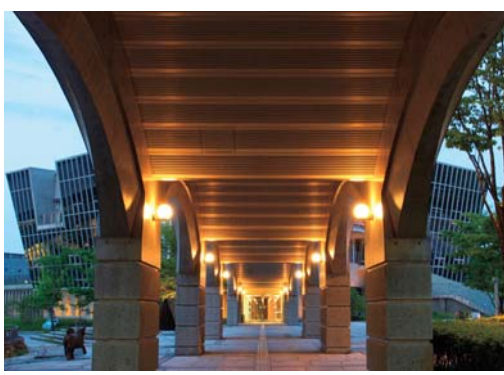
就活なしでも就職率 100%をめざす学び
「キャリア教育」の充実

学部ごとに、その特性に沿ったキャリア形成プログラムを組んで進路支援と指導を行っています。必修・選択科目にキャリア開発科目を設けているほか、「キャリア開発センター」を設置。進路指導員と教員とが一丸となって、学生一人ひとりに応じたきめ細やかなサポート体制で対応しています。



●就職率実績

	看護学部	事業構想学部	食産業学部
平成26年3月卒	100%	94.2%	100%
平成25年3月卒	100%	95.1%	99.3%
平成24年3月卒	100%	98.2%	100%



Real Voice

みやぎをフィールドに活躍する、
在学生・卒業生が語る。

宮城大学 ここが魅力!

宮城大学では、学生一人ひとりが学びのなかで地域と積極的に関わり、
多岐にわたるフィールドで、さまざまな活躍をしています。
その活動を紹介しながら、宮城大学で学ぶ魅力を語ってもらいました。







© Rakuten Eagles



小さい頃からの夢だった看護師。宮城の復興と地域の方の健康のために4年間のボランティア活動を役立てたい。

三浦 淑さん

看護学部看護学科 平成26年3月卒業
〔宮城県泉館山高校出身〕

1年の春休みのときに東日本大震災に見舞われ、大学が募集したボランティアにすぐ参加しました。津波被害に遭った家屋の泥だしが主な活動でしたが、私自身も高校時代の友人を失ったこともあり、大学が再開するまでの間、約40日間ほど被災地に通いました。

その後は土日を利用して被災地へ行き、教員の方と現地で自炊しながら傾聴ボランティアや健康相談など、心のケアを中心としたボランティア活動に参加しました。夏休み明けには学内ボランティア団体「みやぎ絆むすび隊」を立ち上げ、高齢者との畑作業やお宅訪問などを行い、生活不活発病予防のために健康状態を確認し、アドバイスをさせていただきました。被災者に笑顔が見え、表情も明るくなるのが分かり、救われた気持ちになりました。

南三陸町では年に2回“スマイル健康塾”を開催し、教職員の方々とボランティア活動を継続してきました。私たちの活動は、自治体の保健師さんと毎回打ち合わせをし、地区組織とも協力し、地域に合わせたプログラムを実施することでした。保健師さんと関わりあえた経験は、私自身が看護師となった今も役立つ、とても貴重な体験でした。人の気持ちを理解し、つながりを大切にしながら信頼関係を築くという4年間の学びを、今後も活かしていきたいと思っています。

宮城、東北を思う熱い気持ちで プロ野球のチアリーディング活動。 人に元気と笑顔を届けていきたい。



事業構想学部デザイン情報学科４年

木村 南海子さん

〔宮城学院高等学校出身〕

ダンスが好きで、高校時代にサークル活動をしていましたが何か物足りなさを感じ、プロサッカーチームのジュニアチアリーダーズに参加しました。そこで人を笑顔にする喜びを知り、宮城大学へ入学してから、家族ぐるみで応援していた地元プロ野球チームのチアリーダー、“東北ゴールデンエンジェルス”の一員になることができました。

もともと私が事業構想学部を選んだのは、いろいろなことにチャレンジしたくて、やりたいことがはっきり決まっていなかったからです。入学後の学びのなかで、自分の適性を考えながらコースを選択できるところが、自分にぴったりでした。こうして１年生後期から、エンジェルスの活動と学業をどちらも妥協せず、全力で取り組みました。

エンジェルスとして、仙台七夕から小さなお祭りまで、東北各地のさまざまなイベントに出演させていただきました。特に亘理町の仮設住宅訪問では、被災者の皆さんから精一杯のおもてなしを受けたことが忘れられなく、いつか宮城や東北のために恩返しをしようと心に誓いました。

丸２年間のエンジェルスの活動を通し、私のやりたいことや目標がはっきりしてきました。いまは、大好きな宮城で、多くの人に元気を届けられるような仕事を目指し、地域貢献できる存在でありたいと頑張る毎日です。

地元の生産者を応援したい。 “みやぎ食の応援団”を立ち上げ、 地域貢献の一端を担う。



食産業学部ファームビジネス学科４年

小野 太遵さん

〔宮城県石巻高等学校出身〕

私の実家は農業を営んでおり、震災で大きな被害を受けました。家の野菜を近所に配った際には本当に喜んでいただき、わずかな食でも心に豊かさを届けられると実感しました。そこから、農業や食への意識が高まり、宮城大学では地元の生産者を応援したいという思いから、３年生のときに“みやぎ食の応援団”を立ち上げ、宮城のおいしい食材を県内外に広くアピールしていこうと、活動を始めました。

当初は“宮城まるごとフェスティバル”などのイベントに参加させてもらい、食に関わる方々とのつながりを持つことができ、活動の足がかりができました。また、兵庫県立大学との連携で復興のためのイベントを気仙沼で開催しました。私たちは食のブースで地域の名物“気仙沼ホルモン”をPRさせていただき、県外の人たちを呼び込んで被災地を見てもらうと同時に、地元の食を紹介できました。学内農場では、種を蒔くところから始めた完全無農薬のポップコーンを大学祭で販売でき、好評を博しました。「食品マーケティング戦略演習Ⅰ」でも学内の果樹園で収穫したりんごをジュースにして、この春販売の予定です。

食べることが好きなので、宮城の食材をもっと広く知ってもらうための橋渡し役をこれからも続け、生産者と消費者をつないでいく地域貢献をしていきたいと考えています。

宮城大学 学部 INDEX

学　部		目的と教育目標	学　科	入学定員	
大和キャンパス	看護学部	［目　的］ 現代社会において求められる看護について、教育・研究し、社会活動を行うことを通して地域に貢献していくことをめざします。 ［教育目標］ 科学的な思考力と実践的なスキルを備え、かつ人間性豊かな看護職を養成します。	看護学科	90名	
大和キャンパス	事業構想学部	［目　的］ 現代社会発展の原動力である事業構想の知識・技術および政策課題について、教育・研究し、かつ地域貢献を行います。 ［教育目標］ 事業構想の知識とスキルを備えた、技術の分かる事業者、事業の分かる技術者の養成を行います。	事業計画学科	100名	
大和キャンパス	事業構想学部		デザイン情報学科	100名	
太白キャンパス	食産業学部	［目　的］ 人々の生活を支える食産業について、食材の生産から消費に至る過程を対象にして、ビジネス、食の安全・安心、環境との調和などの観点から教育・研究し、社会活動を行うことを通して地域に貢献していくことをめざします。 ［教育目標］ 食材生産、食品・製造・流通、ならびにリサイクル等の環境対応について、幅広い科学的知識と技術を持ち、ビジネスマインドにあふれる人材を養成します。	ファームビジネス学科	42名	
太白キャンパス	食産業学部		フードビジネス学科	52名	
太白キャンパス	食産業学部		環境システム学科	31名	

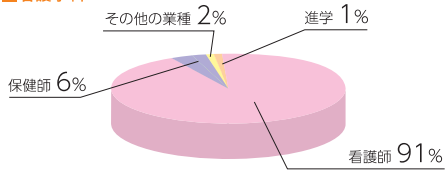
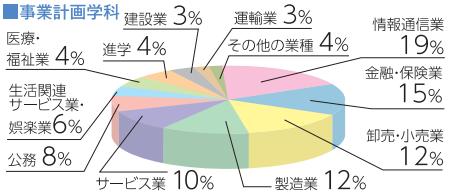
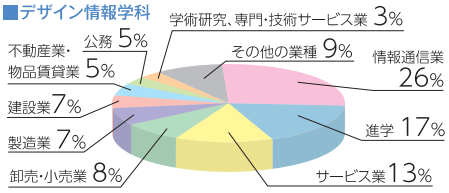
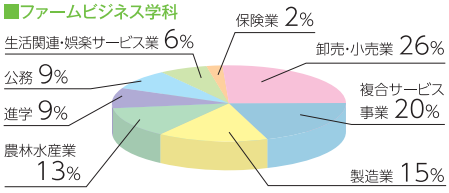
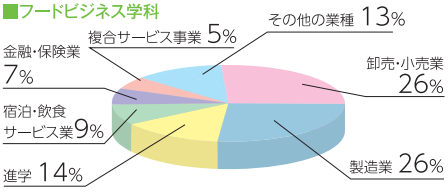
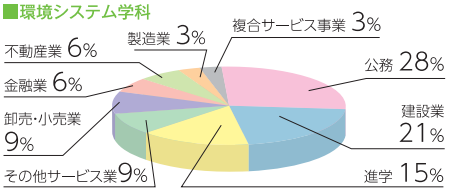






アドミッションポリシー
求める学生像

宮城大学の理念に共感し、大学・学部の教育目標を理解するとともに、志望分野の職業人等としての基礎的な適性があり、大学での勉学や将来への意欲が強く、これらを支える基礎となる学力を持った人を、広い範囲から受け入れます。

資格・免許等	卒業後の主な進路	ページ
看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 養護教諭一種免許 ※保健師教育・養護教諭教育は選択制になります。	■看護学科  	9
公認会計士／税理士／ファイナンシャル・プランナー／行政書士／宅地建物取引主任者／総合旅行業務取扱管理者／国内旅行業務取扱管理者／ITパスポート／基本情報技術者／販売士検定／簿記検定／ビジネス実務法務検定／秘書検定 ■その他、在学中・卒業後に受験可能な資格例 中小企業診断士／銀行業務検定／社会保険労務士／司法書士／知的財産管理技能士	■事業計画学科  	21
応用情報処理技術者／ CG検定（CGエンジニア・CGクリエーター・画像処理・マルチメディア・Webデザイナー カラーコーディネーター検定／宅地建物取引主任者／ 福祉住環境コーディネーター／インテリアコーディネーター／ CAD利用技術者／再開発プランナー／知的財産管理技能士 など ■卒業後受験可能なもの（履修科目指定） 一級建築士（実務経験２年）／二級建築士および木造建築士／インテリアプランナー／インテリア設計士／商業施設士 など	■デザイン情報学科  	25
家畜人工授精師 食の6次産業化プロデューサー	■ファームビジネス学科  	33
食品衛生管理者 食品衛生監視員 HACCP管理者 食の6次産業化プロデューサー	■フードビジネス学科  	37
環境再生医 測量士および測量士補 自然再生士補 ビオトープ管理士	■環境システム学科  	41







看護学部

School of Nursing

人に寄り添える優しく伸びやかな感性と、
変わり続ける医療現場で仕事を続ける
探求心をもった専門職へ



Message

成長し続ける看護専門職の基盤となる能力と人間性を養おう

吉田 俊子 Toshiko Yoshida
看護学部長兼研究科長

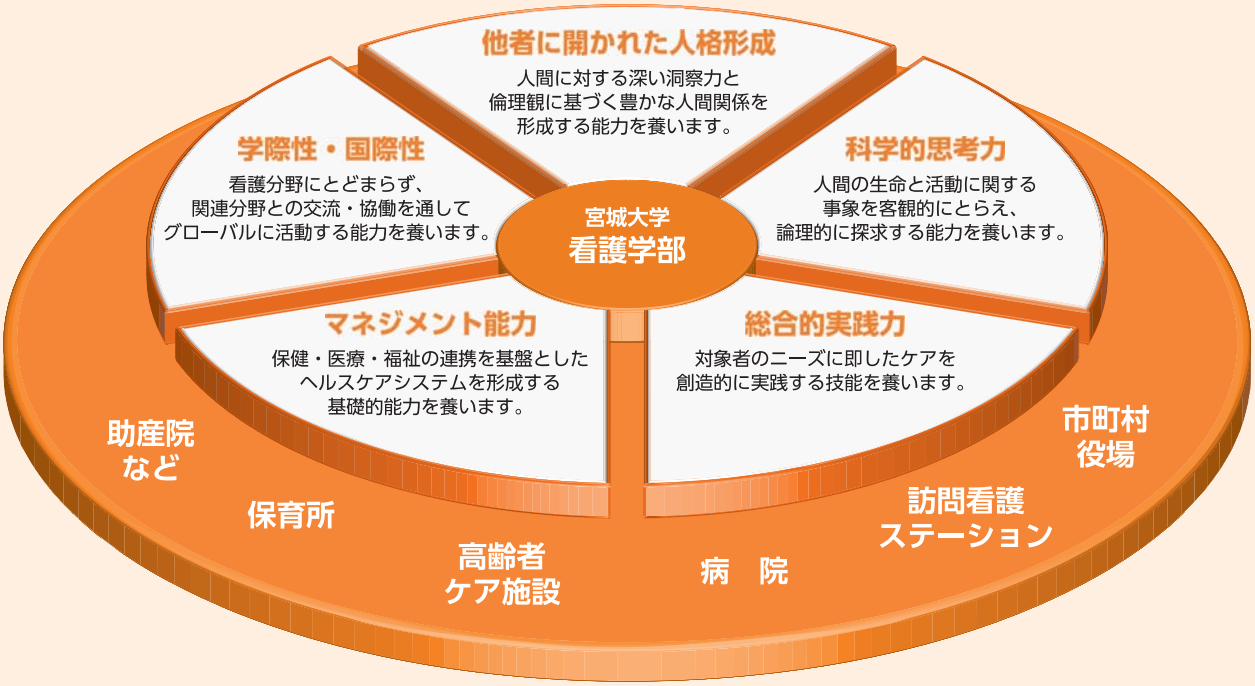
自分は看護に向いているか？ という質問を受けることがあります。向いている物差しを一つだけ挙げるとすれば、「人が好き」であることではないかと思います。看護学は人を対象とした学問であり、看護職はあらゆる地域、人々の健康を支えていく重要な役割を担っています。医療の進歩や社会の変化に伴い、看護職も様々な場で活躍し、多職種と協働して質の高い看護の提供を追求しています。そのためには、確かな知識、思考力、実践力、そして何よりも看護専門職として生涯にわたり自己成長し続ける力を持つことが重要です。

また、看護の実践には、人間への深い理解と温かな眼差しが求められ、鋭い感性と幅広い教養、高い倫理観を養うことが大切です。宮城大学では、専門教育や共通教育科目の学習を強化し、さらに希望者には、災害看護プログラムの履修やベトナムやフィンランドなど国外での演習や看護実習も行っています。４年間を通して自己の学びを振り返る機会を設け、豊かな人間性の育成に取り組んでいます。

ヒューマンケアと実践科学を担う看護スペシャリストの養成。

地域全体が教育のフィールド

県内多数の保健・医療・福祉の現場で看護学実習を行います。



●4年間でこれら全ての保健･医療･福祉施設での実習を経験します。　●実習では5～6人の学生に対し1人の担当教員が指導を行います。

学びの特徴

- **地域の多彩な施設・専門家の協力を得ながら、少人数グループによる4年間の段階的かつ統合的な臨地実習を行います。**
- **看護学及び関連分野の専門的知識を基盤に、学内での演習を通して科学的な根拠に基づく創造的・実践的な専門教育を行います。**
- **共通教育と専門教育の連携により、豊かな倫理観や感性および科学的な思考力を培うとともに、実践的な語学力や情報処理能力を養います。**



卒業後の進路

看護師
各病院等の就職試験を受けて、主に病院で働きます。病院にもさまざまな種類があります。

保健師
主に都道府県や市町村の公務員試験を受けて、保健所や保健センターなどで働きます。

養護教諭
教員採用試験を受けて小学校や中学校、高校で保健室の先生として働きます。

進　学
宮城大学には助産師教育課程がないので助産師を目指す人は助産師養成校に進学します。また、大学院に進学する人もいます。宮城大学大学院では専門看護師養成も行っています。

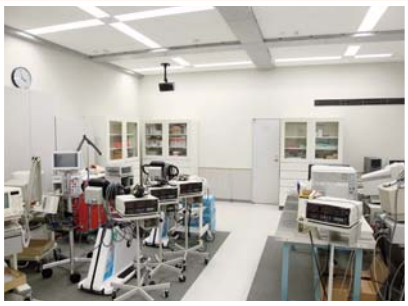
※保健師国家試験受験資格と養護教諭一種免許状は選択制となり、両方を取得することはできません。

4年間で看護専門職の基礎となる能力を養う



メディカル・ラボ

顕微鏡での細胞観察や心電図をとる等、人体の構造や機能に関して深く学びます。







ラボ 1

ナーシング・ラボ 1・2

基礎看護技術や臨床看護技術について、シミュレーション人形を使って演習をします。実際の病院と同様の器具や設備を使用し、実践的なトレーニングを行います。



ラボ 3



ラボ 4

ナーシング・ラボ 4

新生児の沐浴練習や乳幼児の看護技術について演習をします。未熟児室や小児病院と同じ設備を使用してトレーニングを行います。



ナーシング・ラボ 3

在宅療養する方の看護について、自宅と同じ環境を再現して演習をします。高齢者介護用のケア設備が充実しています。





学生ラウンジ

授業では、学生が主体的に学ぶグループワークが多くあります。明るく自由な雰囲気で学生同士の交流や情報交換ができます。

看護学部教員一覧

看護学部長兼研究科長、教授
吉田 俊子（成人看護学）

看護学科教授
安齋 由貴子（地域看護学、公衆衛生看護学）
遠藤 芳子（小児看護学）
小野 幸子（老年看護学）
桑名 佳代子（母性看護学）
佐々木 久美子（地域看護学）
塩野 悦子（母性看護学、家族看護学）
髙橋 和子（在宅看護学）
高橋 方子（基礎看護学）
武田 淳子（小児看護学）
徳永 恵子（成人看護学、WOC 看護領域）
長澤 治夫（神経科学、老年病学、神経内科学）
中塚 晴夫（看護情報学、保健衛生学、公衆栄養学、栄養疫学）
原 玲子（看護管理学）
原田 光子（在宅看護学）
真覚 健（認知心理学、視覚情報処理、教育心理学）
操 華子（基礎看護学、感染看護学）
山田 嘉明（リハビリテーション科学、神経心理学、運動制御）

看護学科准教授
大熊 恵子（精神看護学）
桂 晶子（地域看護学）
河原畑 尚美（老年看護学）
佐藤 ゆか（基礎看護学、感染看護学）
鹿野 裕美（養護学、学校看護学）
菅原 よしえ（成人看護学、がん看護学）
竹本 由香里（基礎看護学）
萩原 潤（看護情報学）
山岸 利次（教育学）





講義室

看護に必要な知識について、専門領域の教員や第一線で活躍する専門家から講義を受けます。視聴覚教材を効果的に使用したわかりやすい講義です。



キャリア教育

看護学部では、１年次からの「キャリアガイダンス」を通して、看護師や保健師の国家試験対策も含めたきめ細かな進路選択のバックアップを展開しています。

医療機関研究セミナー

大和キャンパス体育館において、看護学部４年生と３年生を対象とした「医療機関研究セミナー」を開催しています。



キャリアガイダンス

看護学部では、１年次からのキャリアガイダンスを通し、学生自身がどのような将来を設定し、その目標に向かってどのように取り組み進めていけばよいのか、先輩や様々な看護職の方々と出会う中で学び、充実した学生生活を送れるように支援しています。

国家試験対策

模擬試験や解説会、特別講座等を開催することで国家試験に向けて取り組んでいます。

TOPICS トピックス

看護学部の「地域」との関わり

スマイル健康塾 ―南三陸町での取り組み―

看護学科3年 久保田 千賀さん（宮城県志津川高等学校出身）

私の地元は南三陸町で、高校３年の時に震災で大きな被害を受けました。スマイル健康塾には、大学入学後の説明会に行ってすぐ参加を決めました。“生活不活発病”予防のために、現地の皆さんと軽い運動をしたり踊ったり、畑での農作業では私たちが教えていただきながら、楽しくプログラムを実施することができました。初めは消極的だった方々が、回を重ねるごとに笑顔を取り戻してくる様子に、話す場や憩う場をこれからも継続して提供する必要性を実感しました。

※スマイル健康塾：住民が集い、健康を考えるきっかけを提供する場。



看護学科講師
小松 容子（精神看護学）

看護学科助教
赤間 由美（地域看護学、公衆衛生看護学）
阿部 智美（基礎看護学）
出井 理恵子（老年看護学）
大池 真樹（小児看護学）
鎌倉 美穂（基礎看護学）
木下 美樹（成人看護学）
坂本 希世（母性看護学）
佐藤 大介（成人看護学）
澤口 利絵（精神看護学）
渋谷 衣都（地域看護学、公衆衛生看護学）
霜山 真（成人看護学）
菅原 亜希（成人看護学）
鈴木 敦子（成人看護学）
名古屋 紘子（老年看護学）
平尾 由美子（在宅看護学）
三上 千佳子（小児看護学）
村田 裕美（基礎看護学）
柳谷 利恵（成人看護学）
渡邊 志乃（地域看護学、公衆衛生看護学）

共通教育
教授（学部兼務）
マーガレット・チャン（英語教育、グローバル教育）
弓谷 行宏（言語学、言語人類学、アメリカ研究、教育工学）

看護学科

Department of Nursing



科学的な思考力と実践的なスキルを備えた、人間性豊かな看護職を目指して

4年間の学びのフロー

50名以上の教員によって、共通教育科目から専門教育科目まで総合的に学びつつ、宮城県内のさまざまな施設で実習を積み重ねています。

1年

共通教育科目を中心に、専門の基礎となる“人文・社会科学”“基礎科学”も学ぶ

●共通教育科目の詳細はP45・P46参照　［単位数比率（4年間）］共通:専門=1:5

1年前期　学生生活開始

看護に必要な基礎能力の充実から始まります。基礎ゼミではグループワークで大学での学び方を身につけ、体のしくみ、健康とは何か、看護の方法などの学習をすすめます。

1年後期　学内演習開始

看護の技術演習（看護援助技術論）や薬理学の勉強も始まってきます。





1年2〜3月　基礎看護学実習（I段階）

いよいよ病院で初めての実習。仙台市内の3つの病院に分かれて1週間実習します。

教えて！看護学実習　実習は5〜6人のグループに分かれて行い、教員が各グループを担当して指導します。

2年

専門教育科目本格開始。知識を深め実践力を身につける

2年前期　学内での学習

看護の勉強もどんどん専門的になってきて、病気のことについても学習していきます。養護教諭をめざす人も関連する科目の勉強がスタートします。

2年9月　基礎看護学実習（II段階）

2年の病院実習は2週間。今度は自分で看護の計画を立てて患者さんを援助します。

2年後期　知識を身につける

基礎看護学実習も終わり、3年の領域別実習に向けて知識をどんどん身につけていく時期です。看護実践論では、体の見方についても勉強していきます。



専門基礎科目

医療倫理学
形態機能学I・II・III
公衆衛生学
人間関係論
人間発達学
薬理学
臨床心理学
栄養学
疫学I
家族社会学
看護情報学I・II
疾病論I・II・III
社会福祉学
病態学
保健行動科学
学校保健論

専門科目

看護学原論
ライフステージ看護学概論I
災害活動論
看護技術論
看護援助技術論I
基礎看護学実習
ライフステージ看護学概論II
家族看護論
看護援助技術論II・III
看護実践論
基礎看護学実習
在宅看護援助論I
治療看護論
小児看護援助論I
成人看護援助論I
精神看護援助論I
地域看護学概論
母性看護援助論I
老年看護援助論I

看護学科
私のおすすめポイント

看護師、保健師、養護教諭も視野に。きめ細かな指導とサポート体制。

看護学部看護学科4年
目崎 可那子さん
青森県立三本木高等学校出身



高校時代に病院での看護見学を体験し、医師の前では硬い表情だった患者さんが、看護師の前では心を開いていく様子が見て取れました。看護師の関わり方一つで、患者さんにも力が湧いてくると感じ、看護の仕事は素晴らしいと思いました。また、看護にも看護師と保健師、養護教諭の仕事があることを知り、宮城大学ならその３分野の先生方がいらして、それぞれの理解も深められると思い看護学部に入学しました。

１～２年のころは、形態機能学など生体の構造について理解することが大変でした。高校では生物ではなく物理を選択していたため、サークルやクラスの友人が励ましてくれたり、参考書を見つけては勉強していました。看護援助技術論では、最新設備が整った演習室で、シミュレーターを用いて学生同士による静脈注射などを実践し、緊張した中にも専門技術を学ぶ喜びがありました。３年になると領域別看護学実習が始まり、それまでの病院だけではなく、高齢者ケア施設なども含めて約半年間かけて行われます。地域看護学や小児看護学、母性看護学、在宅看護学など７つの領域にわたり、１か所で２～３週間かけた実習は、県内のさまざまな病院の看護体制などを肌で感じることができ、自分が最も成長できた学びとなりました。

実習や演習では、学生５人程に対し１人の先生が担当されるので、一人ひとりに合わせた指導が受けられます。また、先生が大変身近に感じられ、勉強や進路についても気軽に相談ができ、親身になって対応していただけます。

これからは、患者さんの生活してきた環境を大切にする「在宅看護学」を学び、家族にも目を向けた看護が提供できるように取り組んでいきたいと考えています。

3年

3年前期
看護学の知識を深める
3年に進級し、それぞれの専門分野の勉強がどんどん入ってきます。医療チーム活動など、マネジメントについても勉強していきます。



3年後期
領域別看護学実習
9月からいよいよ半年間の実習が始まります。今度は病院だけではなく、宮城県内の保育所や市町村役場、高齢者ケア施設、訪問看護ステーションなどでも実習します。

教えて! 看護学実習
3年の領域別看護学実習では7つの領域すべての実習を約半年かけて行います。

成人看護学 / 老年看護学 / 地域看護学 / 母性看護学 / 小児看護学 / 精神看護学 / 在宅看護学

4年

自らの専門をより深める

4年前期
就職活動・国家試験勉強開始
将来の進路を決めて、就職活動や国家試験の勉強を計画的に始めます。講義は少なくなりますが、自分で計画を立てて取り組むことが必要です。

卒業研究開始
研究テーマを決めて、1年かけて卒業研究に取り組みます。3月には発表会も行われます。

総合実習（2週間）
5～6月に2週間の実習を行います。ここでは、これまでに学んできた看護の分野から1つを自分で選択して、実習します。

4年後期
公衆衛生看護学実習
公衆衛生看護学実習は9月に行います。保健師国家試験受験資格を得たい学生は必須です。主に地域で生活する人々を対象に、健康教育、健康診査、家庭訪問などを体験し、これらを通して実際の保健師活動を学びます。



養護実習
宮城大学では選択で養護教諭一種免許状を取ることができます。そのために、選択した人たちは4年の後期（8～9月）に養護実習を行います。

4年2月 **国家試験** 2月には看護師と保健師の国家試験があります。

卒業

リハビリテーション学
保健医療福祉行政論

疫学Ⅱ
応用看護情報学
代替療法

保健師、養護教諭の資格・免許を得るための必修科目も別に設けています。

看護マネジメントⅠ
公衆衛生看護援助論
在宅看護援助論Ⅱ
在宅看護学実習
実践看護英語演習
小児看護援助論Ⅱ
小児看護学実習
成人看護援助論Ⅱ・Ⅲ
成人看護学実習
精神看護援助論Ⅱ
精神看護学実習
地域看護援助論
地域看護学実習
母性看護援助論Ⅱ
母性看護学実習
老年看護援助論Ⅱ
老年看護学実習

看護学研究法
看護マネジメントⅡ
緩和ケア論
救急・災害看護論
公衆衛生看護マネジメント
公衆衛生看護学実習
公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱ
公衆衛生看護活動論演習Ⅰ・Ⅱ
国際比較看護論
災害看護支援論
総合実習
卒業研究

学びを深めよう!

特色ある主な科目等



健康の評価技術を習得するためバイタルサイン測定の演習

看護技術論［1年次］

この科目では、看護技術の構造と特殊性を理解し、すべての看護場面に共通する基本的な技術を学びます。具体的には「コミュニケーション」「安全を守る技術」「健康の評価技術」「チーム医療と情報管理」「看取りの援助技術」について学習し、それに関する技術を習得します。

人間関係論［1年次］

普段の友人関係とは異なり、業務の中では年齢などの属性が異なる人々と、人間関係を築く必要があります。実際に看護の現場では若い看護職のコミュニケーション能力や人間関係の能力の低下が指摘されています。この講義では、人間関係を理解するための基礎として、対人認知のプロセスや集団内での人間関係に働く様々な心理学的要因について説明します。



看護実践論［2年次］

患者の健康問題を適確に把握し、看護実践の根拠を明確にして、系統的に看護を展開する方法を学ぶ科目です。具体的には、患者の健康状態についての情報収集および分析・解釈、看護診断、看護計画、実施、評価について学習します。その過程で、学生自身が事例を用いて看護過程の展開を行います。また、患者の身体に関する情報を適確に収集することができるよう、フィジカルアセスメント技術の基礎を習得します。



シミュレーターを使ったフィジカルアセスメント演習

看護情報学Ⅱ［2年次］

この授業では、人間の身体的状態や人間集団の健康を示すデータは、どのように分類でき、どのように処理すれば、判断の材料として使える情報に作り直せるかについて、パソコンを使用した実習を通じて学びます。そして、それらのデータを基にしたグラフや文章の作成、プレゼンテーションを行う方法を習得します。



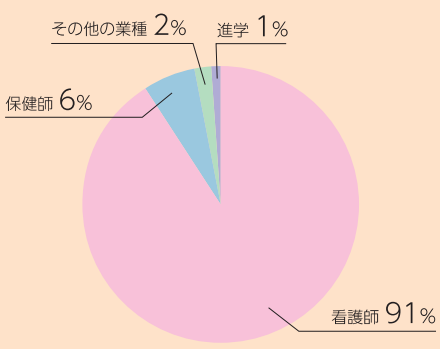
実践看護英語演習［3年次］

英語圏または準英語圏に位置する看護教育機関や臨床施設に出向き、これまで学んできた英語を十分に活用し、実践的な看護英語や看護の実際を学びます。

災害看護プログラム履修パック［1～4年次］

災害直後をはじめ、災害サイクル各期において支援できる看護の基礎知識を学習し、看護学生として、また将来、医療や行政、学校など各分野において災害看護の一端を担える人材を育成します。東日本大震災以前より災害看護に力を入れています。

平成26年度 進路実績



■就職先一例（順不同）

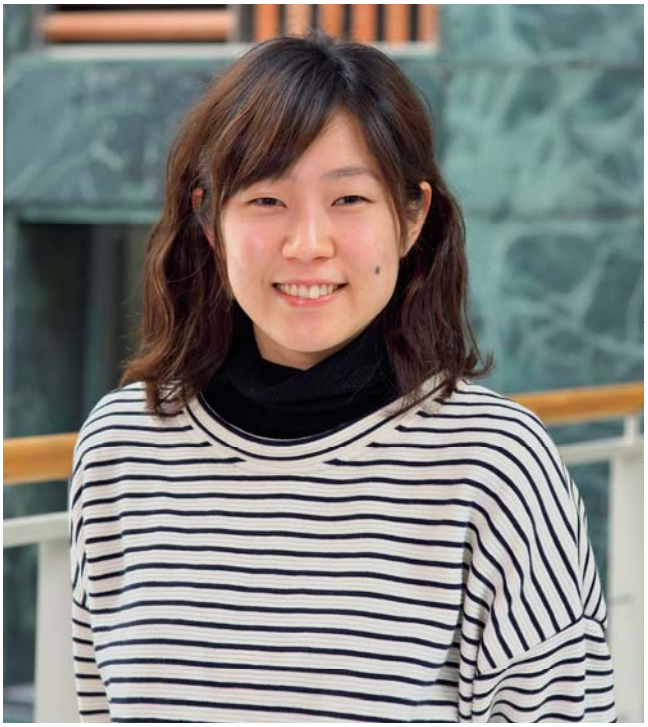
東北大学病院／東北薬科大学病院／東北公済病院／仙台厚生病院／JCHO仙台病院／宮城県立病院機構／宮城県立こども病院／大崎市民病院／坂総合病院／仙台市立病院／仙台オープン病院／仙台西多賀病院／石巻赤十字病院／ＮＴＴ東日本東北病院／虎ノ門病院／川崎市病院局／ライフ・エクステンション研究所付属永寿総合病院／横浜市立市民病院／山形済生病院／武蔵野赤十字病院／扶桑薬品工業㈱／弘前大学医学部附属病院／浜松医科大学医学部附属病院／日本赤十字社医療センター／日本医科大学付属病院／栃木県立病院／東京臨海病院／東京大学医学部附属病院／東京医科大学八王子医療センター／東海大学医学部付属病院／横浜市／宮城県／亘理町／春日部市

■進学先

宮城大学大学院

実感！ 新卒業生だから語れる看護学科のこと

いろいろな病院での実習が豊富。私なりの看護観を持つことができました。



和田 紗季さん

看護学科 平成26年3月卒業
〔宮城県泉高等学校出身〕

バレーボールが好きで、高校時代にはスポーツトレーナーのような仕事に就きたいと思っていましたが、より広い方々を対象にして治療にあたる看護師をめざすようになりました。宮城大学には附属の病院はありませんが、それが自分にとってさまざまな病院で実習ができるメリットにもなるので入学を決めました。

1年から看護学実習があります。はじめての実習では、講義で学んだ知識をどのように実践に生かしてよいのか悩むこともありましたが、教員や病院の看護師さんによる指導や仲間との意見交換を通して自分なりの看護観を深めながら実習を乗り越えることができたと思います。

また、3年になると約半年間、病院や福祉施設など様々な施設で実習し、たくさんの経験をすることができました。

様々な実習施設での活動より、医師や薬剤師、理学療法士、作業療法士など多くの職種が患者に関わっている様子をみて、看護師としてその中でどのような役割があるのか考えていくこともできました。

宮城大学での 4 年間を振り返ると、実習を通して地域のたくさんの病院に育てられ、多様な看護観を学ぶことができました。私は今、臨床現場で、看護師としてさらに修行を積んでいます。ただ資格を持って働くだけではなく、興味のあることや新しい世界をどんどん広げていきたいので、本当の勉強はこれから始まると思っている毎日です。

OG が語る 看護学科



住民に寄り添う保健師を目指して

名取市健康福祉部保健センター 保健師 髙橋 香南子さん

平成25年3月卒業〔聖ドミニコ学院高等学校出身〕

名取市の母子保健を担当し、7か月児相談や両親を対象にした離乳食教室 (もぐもぐセミナー)、妊婦健康診査の助成事業が私の主な仕事です。そのほか、担当地区の相談支援などです。その地区の思春期の児童、成人、高齢者の相談受付や保健指導、生活指導も行っています。執務内容は多様ですが、大きなやりがいを感じています。

病気になる前の予防活動に興味を持ち、保健師を目指して専門学校から宮城大学の 3 年生に編入しました。地域看護学実習で、家庭訪問や健診の場面を想定し、自分たちで台本をつくって実際の言葉づかいや対応を研究したことが、いま職場で生かされています。公務員試験や共通科目の履修、そして資格試験などがあり大変でしたが、友人やサークルの仲間たちに励まされながら頑張ることができたと思います。私は、子どもからお年寄りまで、住民とつながっている町の保健師を目標としています。いつも気軽に声をかけながら、信頼され、頼りにされるそんな存在になることを目指しています。

事業構想学部

School of Project Design

地域をフィールドにして学び、
これからの社会に必要なモノやサービス、
そして新しい価値をデザインする



Message

新しいビジョンと実践で専門を究め
時代を動かす推進力を身につけよう。

徳永 幸之 Yoshiyuki Tokunaga
事業構想学部長兼研究科長

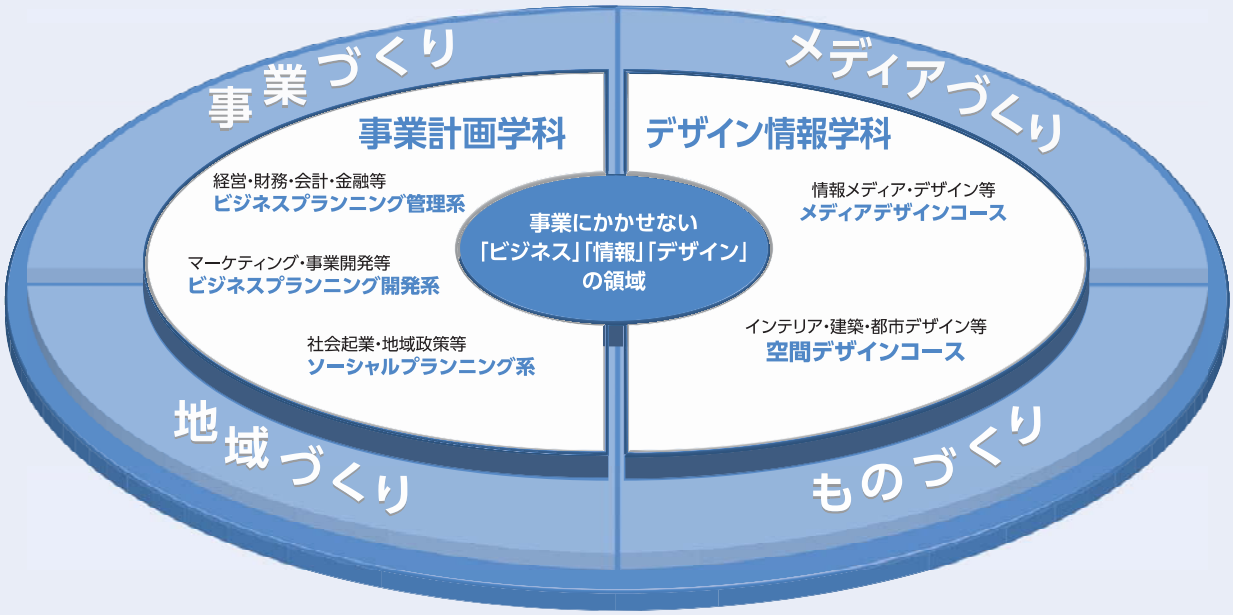
社会の構造が変化し、技術革新が加速していくなかで、事業構想学部へ求められているものは、幅広い分野の知識を得て、実社会の現場で学ぶことの重要性です。事業構想というと、目標を達成するためのプロジェクトデザインと思われがちですが、事業構想学部では「事業づくり」「地域づくり」「メディアづくり」「ものづくり」の４つの領域を事業としてとらえ、事業計画学科とデザイン情報学科という2つの側面から学ぶことができます。

現在進めているのは、夢を形にするスキルだけではなく、それを実現させるノウハウやソフトを融合した「文理一体」の教育展開です。多様化する事業へ、新しい構想と目標をもって望むには、さまざまな実践の場が必要となります。そこで得た経験と知識を体系づけ、理論化し、普遍性を見つけ出すことが、大学で学ぶということの基本です。事業構想学部では、志と覚悟を決め、社会で活躍するための学びの“気づき”を常に自覚できる人材育成をめざしています。

各種事業を総合的にプロデュースする知識とスキルを備えた事業者・技術者の養成。

俯瞰的に見る眼を養い、専門的技術で高い実践力を養います

「文理一体」教育として、コースや学科を越えて多種多様なカリキュラムを履修できます。



学びの特徴

- 事業に欠かせないビジネス、情報、デザインの3つの専門知識・スキルの融合した事業者・技術者の教育を行います。また、関連する国家資格取得への道を開きます。
- フィールドワーク、事例研究等を重視することにより、社会の実態に触れ実践力を養います。
- チームプロジェクト研究や卒業研究で事業モデルや作品を作成することにより、構想力を養います。
- 事業構想に必要な基本リテラシーとして、英語、情報処理、会計能力を養います。



卒業後の進路

総　合　職
各企業の基幹となる業務に従事し、多くの部門や職種に携わることができます。キャリアを重ね将来的には多くが幹部候補生をめざします。

専門職・デザイナー等
国家資格を必要とする職種、高度な専門知識や構想力が必要となる業務等に携わります。

行　政　職
各都道府県や市町村の公務員試験を受けて、行政事務に従事します。基本リテラシー力を発揮できます。

技　術　職
各企業で研究や設計、開発等に携わります。技術者として常にスキルアップすることで、新しい技術開発などでの活躍も期待できます。

起　業　家
実現可能な事業構想で新しく事業を起こして運営します。

進　学 ※大学院博士前期課程
宮城大学大学院では、より高度で専門的な教育を受けることができます。また、他大学の大学院へ進学する人もいます。

未来を見据えた学びのフィールド



製図室・CADプレゼン室

主に設計やデザインに関わる作業を行う施設です。製図室では、手書きでの製図や模型の製作を行うことができます。CADプレゼン室では、CGやCAD（コンピュータ設計支援システム）を利用して設計やデザインの作業を行うことができます。





演習室

ゼミ活動や少人数での授業、グループでのディスカッションなど、さまざまな場面で活用されています。











学外での実習・活動

学びのフィールドは学内だけではありません。地域全体が学び舎です。

講義室

座学だけではなく、学生が大勢の前でプレゼンテーションを行うことも数多くあります。





事業構想学部教員一覧

■事業計画学科

事業構想学部長兼研究科長、教授

徳永 幸之（地域・交通計画、オペレーションズ・リサーチ）

教授

風見 正三（都市計画、地域計画、まちづくり、コミュニティビジネス）

糟谷 昌志（医療福祉システム、医療経済学、福祉事業、社会調査、社会疫学、ソーシャルワーク）

金子 孝一（感性工学、感性事業、商業開発）

坂本 眞一郎（会計学、非営利会計、医療病院管理学、教育工学）

櫻木 晃裕（組織行動論、人的資源管理論、経営組織論）

田邉 信之（金融、ファイナンス、不動産投資・証券化）

福永 晶彦（経営戦略、経営管理、企業倫理、生産管理）

藤原 正樹（経営情報システム、ＩＴマネジメント、ｅビジネス）

宮原 育子（地理学、旅行事業、地域交流事業、地域資源論）

准教授

内田 直仁（税法、社会関連会計学）

金子 浩一（理論経済学、産業組織論、経済教育学）

高力 美由紀（マーケティング、流通・フードビジネス）

助教

板 明果（計量経済分析、ライフサイクル分析）

鈴木 孝男（農村計画）

幅広い学びに
対応した施設や設備が
整っている充実した
学習環境です。







キャリア教育

事業構想学部では、「キャリア開発」の授業が必修になっています。これは全国の大学の先駆けとなった画期的な取り組みです。授業を通して“キャリア”という概念から各自のキャリアプランの作成までを理論的に学んでいきます。

合同企業説明会

事業構想学部と食産業学部の３年生を対象として、業界研究を目的に「合同企業説明会」を大和キャンパス体育館で開催しています。

就職活動支援セミナー

キャリア開発センターでは、一般企業等の各種採用試験対策に向け、講座・セミナーを開催し、「就職活動が初めての体験」という不安や迷いをなくしています。



業界研究セミナー

さまざまな業界の方にお越しいただき、就職に対して動機づけから自己分析、業界研究、筆記試験対策、面接試験対策など、就職活動に向けて必要なすべてのことが学べるプログラムです。

TOPICS トピックス

事業構想学部の「地域」との関わり

「J - POPサミット フェスティバル 2013」に参加。米国サンフランシスコで宮城のモノづくりを紹介し地域再生のプロジェクトを世界に発信しました。

デザイン情報学科 平成26年3月卒業 髙橋 恵佑さん（宮城県富谷高等学校出身）

このフェスティバルは、日本のサブカルチャーを紹介するもので、世界中から人々が集まるビッグイベントです。今回は、中田准教授と土岐助教が共同で取り組む、宮城県南三陸町戸倉長清水（ながしず）での復興支援活動「ながしずうるし」プロジェクトを紹介し、漆作家でもある土岐助教の作品“鎧ふかたち”を展示しました。

津波の浸水による農林被害の大きかった地域に、あらたに漆を植林して育て、日本独特の資源である漆を採取し、個性ある新たな産業振興につなげるという取り組みに、たくさんの人が関心を示してくれました。慣れない英語での説明でしたが、日本の文化や技術への注目度の高さも実感しました。モノづくりが、やがてまちづくりに結びつくように、私も力になりたいとあらためて感じました。



■デザイン情報学科

教授

秋月 治（情報ネットワーク）
井上 誠（建築計画、建築企画）
茅原 拓朗（知覚・認知心理学、インタラクション・デザイン）
小嶋 秀樹（認知科学、福祉ロボット、メディア工学）
須栗 裕樹（情報システム設計）
富樫 敦（情報工学、ＩＣＴ応用（医療、農業、地域振興））
永松 栄（都市計画、地域デザイン、まちづくり、都市形成史）
日原 広一（商品デザイン（プロダクト・デザイン、グラフィックス・デザイン&マーケティング））
平岡 善浩（建築設計、建築計画、コミュニティデザイン）
蒔苗 耕司（空間情報システム、土木情報学）

准教授

伊藤 真市（文化環境デザイン、色彩論）
坂巻 英一（統計学、消費者行動分析、データマイニング）
竹内 泰（建築設計、インテリアデザイン）
中田 千彦（建築設計、メディアデザイン）

助教

相模 誓雄（建築歴史・意匠）
鈴木 優（ヒューマンコンピュータインタラクション）
土岐 謙次（漆造形、デジタルクラフトデザイン）
物部 寛太郎（空間情報学、社会基盤情報学）

共通教育（学部兼務）

准教授

マシュー・ウィルソン（英語教育、TOEIC、e-learning）

事業計画学科

Department of Business and Project Planning



企業から地域まで幅広い「事業」の場で通用する論理的な思考と実践的な手法を学ぶ

4年間の学びのフロー

社会の動向や時代の流れに対応したカリキュラムで、理論と実践をバランスよく学びます。教員の専門分野も幅広く、多種多様なカリキュラムが用意されているため、目標を持って履修することで、将来の可能性を広げることができます。

目標に応じた知識とビジネススキルを身につけるため、3つの履修モデルを提示しています。

管理 ビジネスプランニング管理系
ビジネスマネジャーやスペシャリストをめざすために、ビジネスマネジメントに必要な理論・手法を学びます。

開発 ビジネスプランニング開発系
プランナーやアナリストをめざすために、ビジネスモデルを評価分析・再構築するためのマーケティングスキルを学びます。

地域 ソーシャルプランニング系
新たな社会ビジネスや地域ソリューションを創造する実践的なプロジェクトマネジャーをめざします。

共通 3つの系(履修モデル)に共通な科目

1年 前期 ／ 後期 ／ 2年 前期

共通教育科目を中心に、専門の基礎となる“人文・社会科学”“基礎科学”も学ぶ

専門教育科目本格開始。さまざ

●共通教育科目の詳細はP45・P46参照 ［単位数比率(4年間)］共通:専門=1:3

基礎ゼミ 大学や社会で必須となるチームで課題に取り組む力を養います。

キャリア開発A・B 自らの適性を知ることからはじめ、業界研究・企業研究を行う

インターンシップ(企業、行政等での実地研修)で社会体験する

前期 共通 **「情報処理」は必修科目。情報リテラシーの基礎を学ぶ。**

インターネット時代の情報リテラシーをしっかりと身につけ、専門教育で必要とされる知識や活用能力を養うために、情報処理の基礎を学びます。

前期 共通 **事業構想、事業計画とは?「事業計画概論」**

4年間の学びを有意義にするために、事業構想学部事業計画学科で学べる幅広い分野の導入知識を身につけます。具体的には、各専任教員の担当科目の概要を紹介するとともに、実社会においてどの様に活用されているのか、どの様な働き方があるのかについても紹介します。



後期 共通 **初めて統計データに触れる。Excelで実際に統計解析してみる。**

共通教育科目「基礎統計学」で、実際にサンプルデータの分析を実習しながら、統計的な考え方や統計資料の読み方を習得します。

前期 共通 **文章や数字、地図や図面など、世の中に溢れる情報を見極め活用するための基礎を学ぶ。**

「メディアリテラシー」では、情報の収集・分析・活用スキルを習得すると同時に、マスメディアやインターネットで流れる情報を扱う上で身につけるべき情報倫理等を学びます。
「フィールドワークリテラシー」では統計や地図・図面に表わされる情報と実際の空間をつないで理解する力を身につけます。

専門教育科目

基本科目	各系共通(事業計画系)	事業計画概論 法学概論 簿記原理 経営学概論	事業構想特別講義	ビジネスプレゼンテーション 会計学総論 ビジネスプランニング 地域政策論	地域資源論	事業構想の数理 民法 事業計画特別講義I
系推奨科目	ビジネスプランニング管理系					金融論 経営戦略
	ビジネスプランニング開発系					eビジネス メディアプランニング	ITソリューション 観光学
	ソーシャルプランニング系					地域計画 行政学総論

事業計画学科 私のおすすめポイント

幅広い学びで可能性を知ろう。夢は自分次第で近づいてくる。

事業構想学部事業計画学科4年
金野 和人さん
岩手県立一関第一高等学校出身



事業計画学科とは“事業を計画する力を養う”ところだと思います。さまざまな分野を幅広く学びますが、ただ知識を得るのではなく、講義を通して知識や情報の実社会への活用方法を学んでいると感じています。

今いちばん興味のある講義は「地域経済論」です。例えば宮城県の経済指数が全国水準のどのレベルにあるかなど、さまざまな観点から考察し、どのように地域経済を成長させるべきかなどを、実践的に学んでいます。また、農業の“6次産業化”にも触れ、東北の農業についても議論を重ねています。

ゼミでは「宮城県におけるタクシーのおもてなし」をテーマに研究しました。企業の協力をいただきながら行ったアンケート調査から、タクシードライバーと利用客の双方とも“意思疎通を図りたいが、コミュニケーションが取れない”という分析結果を得て、これらの問題点を同時に解決する仕組みづくりを開発しました。そして企業への提案や県庁への報告、学会での発表など、まさに自分たちで行える実践活動を最後までやり切ることができました。

いろいろな夢や関心が、自分の学びと接点を持ち始めると、目標は見えてくると思います。私の描く将来像は“観光や農業を通して地域経済を支え、東北の発展に携わること”です。観光は経済波及効果が高く、東北には知られていない観光資源がまだまだあり、その活用が今後の成長を担うと考えています。農業についてはブランディングや6次産業化を通じ、農業を食産業として内外に発信していくことが重要だと思います。4年間かけて目標に近づくために“今できることに最善を尽くす”を心がけ、毎日の学びを大切にしていきたいです。

後期 3年 前期 後期 4年 卒業

まな科目を学ぶ中で、2年修了時には自らの専門領域を定め、所属するゼミを決定する

ゼミの先生の指導のもと、自らの専門をより深めていく

キャリア開発C・D グループディスカッションや面接など就職活動の実践的なスキルを身につける

事業演習Ⅰ・Ⅱ

大学で学ぶ理論と社会の実態を自らの体験を通じて関連づけます。

後期 共通 後期 地域 データに基づいてしっかりと議論を行うために必要な調査方法を習得する。

「マーケティングリサーチ」では、市場全般の調査を科学的に行うための手法を学びます。「社会調査」では、人々の意識や行動などの実態を捉える調査を行うための基本的な知識と技能を習得します。基礎統計学、メディアリテラシー等で学んだことを基盤に、実践につなげるための知識を身につけます。

前期 開発 「商業開発」で集客をデザインし管理運営することを学ぶ

この授業では事業のフィージビリティ（実現可能性検証）やマスタープラン手法、収益計算法、実例ケーススタディ、設備計画や店作りなどを学びます。特に、事業フィージビリティでの査定法では、街中に仮想商圏を定め、実店舗を対象にしてフィールドワークを行い、購買需要分析から事業規模評価を学習します。

後期 開発 「ビジネスプロセスマネジメント」で事業を構想するプロセスを学ぶ

企業など組織の活動は、販売・生産・会計・人事など複数の業務によって構成されています。この授業では目標を実現するために必要な主要業務を設計し、改善する手法を習得します。

共通 チームプロジェクト研究

デザイン情報学科の学生も含め、様々な専門領域のメンバーとチームでプロジェクトに取り組みます。



共通 卒業研究（事業計画研究）









ミクロ経済学　商法・会社法 マーケティングリサーチ 事業計画特別講義Ⅱ マーケティング論		
税務会計　経営財務 非営利事業会計　人的資源管理	意思決定会計　企業評価 公法	CSR・監査論 ベンチャー企業論
ホスピタリティビジネス	商業開発 販売促進　市場・社会調査事例	ビジネスプロセスマネジメント
交通計画　地域交流事業 コミュニティビジネス　社会調査		地域経済論

学びを深めよう!

特色ある主な科目

地域資源論［1年次］

地域資源とは、自然環境のほか、地域に暮らす人々が歴史的に築き上げてきた社会、産業、文化、教育などの人文的な環境、自然を利用する過程で人々が培った知恵など、多岐にわたります。

近年、地域で展開されるさまざまな事業は、その持続性と経済性、文化性、環境への配慮などを重視して、地域に存在する資源を活用した計画や展開が望まれています。

この講義では、地域資源についての基礎的な知識とその資源を活用した地域づくりや観光交流などの事例を学び、その重要性や可能性について理解を深めます。

受講した学生からは「それぞれの地域が持つ自然、文化、人などの資源をどのように活かすことができるのかを学べる。地域作りに興味がある人におすすめしたい。」との声がありました。





マーケティング論［2年次］

マーケティングとは、企業が商品やサービスを顧客に提供するために行う総合的な活動です。また、その戦略がマーケティング戦略です。しかし、マーケティング戦略は商品戦略やサービス戦略にとどまりません。マーケティングの究極の役割は顧客満足を作り出し、事業や企業を継続させることです。そのため、企業戦略、事業戦略、あるいは組織戦略とも、深く関係しています。

この講義では、マーケティングの役割と重要性を理解し、基礎的な理論および知識を習得することを目指します。企業戦略から商品戦略まで、基礎となる様々な要素について確認を行い、企業のマーケティング戦略に必要な視点について学びます。

eビジネス［2年次］



eビジネスとは、インターネット、携帯電話などのITを活用し新しく登場したビジネス全体をさす用語です。例えば、ネットショッピングは、eビジネスの一つです。 この講義は、eビジネスを行う上で必要な基礎知識を身につけるとともに、事例研究などによって、その事業内容を理解することを目的としています。また、eビジネスを理解するために必要な、経営戦略、マーケティング、流通など経営情報に関する基本的な知識も学びます。

コミュニティビジネス［2年次］



深刻化する地球環境問題や地域経済の衰退等の課題を解決し、持続可能な地域を実現するためには、地域に根ざしたコミュニティビジネスを創造していくことが重要です。この講義では、コミュニティビジネスの発展過程を理解し、国内外の先進事例の分析を通して、持続可能な地域創造の核としてのコミュニティビジネスの役割や今後の展望と課題について学習します。

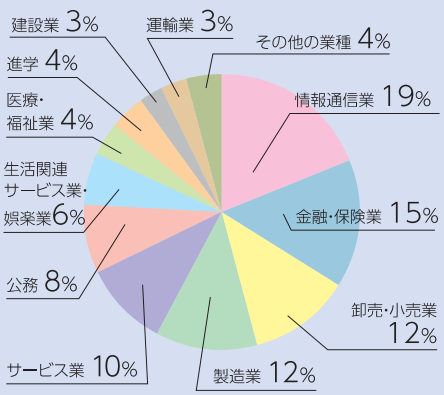
■事業計画学科が推奨・サポートしている資格

公認会計士／税理士／ファイナンシャル・プランナー／行政書士／宅地建物取引主任者／総合旅行業務取扱管理者／国内旅行業務取扱管理者／ITパスポート／基本情報技術者／販売士検定／簿記検定／ビジネス実務法務検定／秘書検定

■その他、在学中・卒業後に受験可能な資格例

中小企業診断士／銀行業務検定／社会保険労務士／司法書士／知的財産管理技能士

平成26年度 進路実績



■就職先一例（順不同）

宮城県／仙台市／大崎市／㈱七十七銀行／㈱仙台銀行／㈱三井住友銀行／㈱りそな銀行／東日本旅客鉄道㈱／宮城県商工会連合会／㈱日立ソリューションズ／㈱メガネトップ／（独）労働者健康福祉機構／JR東日本東北総合サービス㈱／㈱日立ソリューションズ東日本／あいおいニッセイ同和損害保険㈱／㈱永大ハウス工業／現代自動車ジャパン㈱／コニカミノルタビジネスソリューションズ㈱／スズキ㈱／スターツコーポレーション㈱／ゼリア新薬工業㈱／全国労働者共済生活協同組合連合会／仙台厚生病院／第一三共ヘルスケア㈱／田辺三菱製薬㈱／東北インフォメーション・システムズ㈱／富谷町／日本銀行 仙台支店／野村證券㈱／鋼城正大法律事務所／富士フイルムメディカル㈱／三菱UFJインフォメーションテクノロジー㈱／ライオン㈱／㈱DNP東北／㈱河北新報社／イオンリテール㈱／東日本電信電話㈱／エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ㈱

■進学先一覧（順不同）

宮城大学大学院／東北大学大学院／仙台子ども専門学校

実感！ 新卒業生だから語れる 事業計画学科のこと

恩師との出会いが大きな自信に。ゼミでの企業提案が私を変えた。



吉田 麻里菜さん

事業計画学科 平成26年3月卒業
〔宮城県泉館山高等学校出身〕

4年間の学生生活では、仲間と一つの目標に取り組むことの素晴らしさを体験しました。大学祭では実行委員会のメンバーとしてみんなと一緒に頑張り、成功させることができました。3年間続けた大好きなテニスサークルでも、チームメイトとともに、何度も大きな達成感を得ることができました。

なかでも3～4年のゼミで取り組んだプロジェクトは、自分にとって大きな自信となるものでした。3年の9月から半年間をかけ、富士フイルムの“ルナメア”という基礎化粧品のプロモーションをゼミのメンバーと考え、企業訪問をしてプレゼンテーションさせていただきました。企業の方からは「学生目線の話が新鮮」という評価をいただいたり、商品の定期購入者の生の声を初めて聞くことができたり、これまでにない貴重な体験ができたと感じています。

このゼミを担当していただいた高力先生の存在は、私にとって大変大きなものとなりました。途中で難問にぶつかったり、くじけそうになったときなど、どんな時もゼミ生みんなを力強くサポートしてくださいました。とにかく先生のお話は面白く、「マーケティング論」や「販売促進」、「ビジネスプランニング」などの講義は、大変魅力的でした。

高力先生との出会いは、私の価値観を変え、これからの人生にも大きな影響を与えるものとなりました。社会人となっても何ごとにも全力で取り組み、相手の立場に立って考え、行動するように心がけ、進んでいきたいと思います。

OGが語る 事業計画学科



沢山の人との繋がりが、今の仕事へ。

株式会社エフエム仙台 編成局 放送部 奥口 文結さん

平成25年3月卒業〔宮城県宮城第一高等学校出身〕

平成25年4月の入社後、いろいろな部署で勉強させて頂き、同年5月に編成局放送部に配属となりました。主な仕事は、アナウンサーとしての業務やタイムテーブルの編集・作成、広報関係ではホームページの更新、ウェブ広告やフライヤーの作成などで、充実した毎日を過ごしています。

宮城大学時代は、「ART STANDARD.」というサークルに属していました。その繋がりから、コミュニティ放送局のfmいずみさんで、サークルの情報番組のパーソナリティとして、マイクの前でお話しする機会を頂きました。その経験がいまの私を後押しする力になっています。宮城大学の魅力は、事業企画のノウハウなどを、企業や団体との連携も含め、幅広い視野に立って実践的に考えることができることです。マーケティング専攻のゼミでは、吉野家の女性向け店舗の提案を、実際に本社でプレゼンテーションさせて頂きました。大学の枠を越え、沢山の社会人の方との出会いのおかげで、座学だけでは得られない大切なことを学べたことが、宮城大学で得た財産のひとつです。宮城大学にはたくさんの選択肢があります。能動的に4年間を過ごすことができれば、どんな自分へも成長していけると感じています。

デザイン情報学科

Department of Spatial Design and Information Systems



情報・システム・空間、それぞれの領域と人とを やわらかくつなぐデザインを考える

4年間の学びのフロー

2つのコースを設けて、専門的な実践力を養うことができるようにしています。将来の目標や知識を深めたい分野に応じて、コースや学科を越えて多種多様なカリキュラムを取り入れることができることも特長です。

目標に応じた知識とビジネススキルを身につけることができる2つのコース。1年次の後半にコースを確定します。

メディア メディアデザインコース
デザイン情報分野のクリエーター、エンジニア、プランナー、デザイナーをめざす

空間 空間デザインコース
都市や建築、まちづくりからインテリア分野におけるデザイナー、設計技術者をめざす

共通 2つのコースに共通な科目

1年 前期 ／ 後期　2年 前期

共通教育科目を中心に、専門の基礎となる“人文・社会科学”“基礎科学”も学ぶ

専門教育科目本格開始。さまざ

●共通教育科目の詳細はP45・P46参照　［単位数比率（4年間）］共通:専門=1:3

基礎ゼミ 大学や社会で必須となるチームで課題に取り組む力を養います。

キャリア開発A・B 自らの適性を知ることからはじめ、業界研究・企業研究を行う

インターンシップ（企業、行政等での実地研修）で社会体験する

前期 共通
「情報処理」と「数学概論」も必修科目。情報リテラシーの基礎と数学的手法を学ぶ。

インターネット時代の情報リテラシーをしっかりと身につけ、専門教育で必要とされる知識や活用能力を養うために、情報処理の基礎や微分積分学、線形代数学の基礎を学びます。



後期 空間
初めて設計をし、図面を引き、模型を作ってみる。

平面図、断面図、立面図、透視図などを立体的な観点と科学的視点に立って、その図法や製作技術を学びます。その上で、一から設計を行い図面化し、実際に小空間の模型を製作します。





前期 メディア
デザイナーにとって不可欠な画像処理を学ぶ。

「ビジュアル情報処理」では、画像のデジタル化の方法、フィルタリング等の画像処理の代表的なアルゴリズム、領域処理や情報抽出、動画像処理等の画像処理の応用技術について具体的・実践的に学びます。

専門教育科目

基本科目	2コース共通（デザイン情報系）	デザイン情報概論 簿記原理 事業構想特別講義	コンピュータ科学 デザイン理論 会計学総論 建築概論	デザイン史 デザイン情報特別講義I
専門推奨科目	メディアデザインコース			メディアエレクトロニクス 造形デザイン メディア表現 ビジュアル情報処理 プロジェクト管理
専門推奨科目	空間デザインコース			環境表現技術 建築計画 建築一般構造 建築史 都市と文化

デザイン情報学科
私のおすすめポイント

モノづくりに打ちこめる環境。多様な視点から建築を学ぶ。

事業構想学部デザイン情報学科4年
板宮 雄大さん
東北学院高等学校出身



私は建築・設計の道を志してデザイン情報学科を選びました。“事業構想”という学部の名の通り、講義内容は建築周辺にとどまらず、広告やプロダクトデザイン、美術、コンピュータシステム、地域政策など幅広い観点から、モノづくりを学んでいきます。こうした幅広いカリキュラムから、建築に必要なものを吸収していく過程で、自分の中に建築やデザインの考え方が体系づけられていきました。

１～２年のころは、軽音楽やバスケットボールのサークル活動にも熱心に参加し、自分の将来像もまだ漠然としていました。しかし３年になり専門科目が増えるにつれ、それまで断片的だった学びの蓄積がかみ合い、本当にやりたいことが見えてきたのです。中田千彦准教授の「環境表現技術」には影響を受け、講義を聴くだけでデザインする意欲をかき立てられました。また、高山登理事のもとで学外研修のアシスタントを務め、東北各地へ帯同させていただいたことは、今後にも生かされる貴重な体験でした。

「施設設計製図」は１年後期から４年まで履修する科目で、敷地や建物の用途などの要件を与えられ、自由に設計製図するものです。建築・設計をやる者にとって一番大事な演習科目であり、発想や問題を解決する能力が求められるコンペティションのような、とても楽しくやりがいのある講義です。ほかの履修科目で学んだことをここですべて落とし込むというもので、多くの学生が夜遅くまで大学に残って、議論しながら懸命に取り組んでいます。

後期 3年 前期 後期 4年 卒業

まな科目を学ぶ中で、3年前期修了時には自らの専門領域を定め、所属するゼミを決定する

ゼミの先生の指導のもと、自らの専門をより深めていく

キャリア開発C・D グループディスカッションや面接など就職活動の実践的なスキルを身につける

デザイン情報ゼミナール

大学で学ぶ理論と社会の実態を自らの体験を通じて関連づけます。

後期 メディア **人に受け入れられ、説得できるデザインとは?**



変化著しいデザイン業界においては、様々な局面に対応できる能力が必要です。「デザインマネジメント」では、制作演習を通して、デザインの基本である理念、定義、方法論の基礎力を実践的に習得します。

後期 空間 **耐久性や耐震性を考える「構造力学Ⅰ」を学ぶ。**

構造設計をする上で欠かせない「構造力学」は構造物の骨組みに作用するさまざまな力によって、生じる応力や変形やひずみを分析する学問です。力の性質や骨組みなどについて理解し、集中荷重と分布荷重や、はりの構造について科学的に学びます。

前期 空間 **材料を知ることが、設計・デザインの第一歩。**

コンクリート、鉄、石、煉瓦、木材など、性能や製造方法、利用方法、環境負荷の観点から基本的な知識を学びます。コンクリートを作製できる基礎的知識を身につけます。

後期 メディア **3次元デザインやVR、近未来のデザイン情報環境を考える。**

情報技術の進歩に伴い、デザイン環境も高度化しつつある昨今、3次元デザイン手法や空間情報システム、バーチャルリアリティの技術と実際のテクニックについて演習で学びます。

共通 **チームプロジェクト研究**

事業計画学科の学生も含め、様々な専門領域のメンバーとチームでプロジェクトに取り組みます。



感性情報処理
デザイン情報特別講義Ⅱ

デザイン情報特別講義Ⅲ

ウェブデザイン　システム設計
デザインマネジメント　ゲームデザイン
アルゴリズム基礎

インタラクションデザイン　データベース
ユーザビリティ　情報ネットワーク
データマイニング

広告・グラフィックスデザイン　映像デザイン
プロダクトデザイン　デザイン情報環境
オペレーティングシステム

サスティナブルデザイン　建築法規
インテリアデザイン　構造力学Ⅰ
建築企画　構造デザイン

建築デザイン　都市計画　材料学
ランドスケープデザイン　構造力学Ⅱ
ファシリティマネジメント　環境工学

空間と事業　施工技術
地区計画　建築コスト
設備設計　空間デザイン

共通 **卒業研究（デザイン情報研究）**









学びを深めよう!

特色ある主な科目

メディアデザイン演習Ⅰ［1年次］

この授業では、メディアアート等の創作活動で利用されているopenFrameworksを用いて、グラフィックスプログラミングを学びます。前半の授業では簡単なグラフィック作品の制作を通じてプログラミングの基礎的な知識と技術を習得します。後半の授業ではジェネラティブ・アートの制作に取り組み、最終回にはその発表会を実施します。ほとんどの学生はプログラミング初心者ですが、発表会にて発表される作品はどれも質の高い作品であり、発表会は大いに盛り上がります。



造形デザイン演習Ⅰ［1年次］



メディアデザイン、空間デザイン等、様々なデザイン領域に必要な色彩表現、空間構成、素描、マーカードローイング等を演習として行います。各項目ではそれぞれ複数の課題を設定し、事前課題の実施も含め、主に手作業による課題作品を制作します。

デジタルで多様なデザインを思考する上でも重要となる基礎的なトレーニングを積み重ね、表現技術を高めます。

チームプロジェクト研究［3年後期］

事業計画学科の学生も含め、さまざまな専門領域のメンバーとチームでプロジェクトに取り組みます。



施設設計製図C［3年次］

実在するまちづくり地区を対象として、実行可能性・実現可能性の検証をし、社会経済動向、地域のニーズ、地区特性に基づいて地区計画を構想します。その中で、「地区の計画」「街区・建築の設計」の意味と設計技法を習得し、さらに、そこで位置づけた街区を取り出し、ひとつのモデルとして、複合的な街区設計スタディも行います。また、設計において必要なコミュニケーション力（情報伝達力・プレゼンテーション能力）の向上も目指します。

卒業研究［4年次］

4年間の学修の集大成として、学生一人ひとりが指導教員のもとで研究あるいは制作を行います。



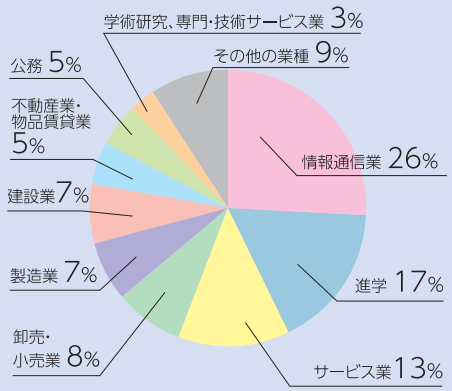
■デザイン情報学科が推奨・サポートしている資格

応用情報処理技術者／CG検定（CGエンジニア・CGクリエーター・画像処理・マルチメディア・Webデザイナー）／色彩検定／カラーコーディネーター検定／宅地建物取引主任者／福祉住環境コーディネーター／インテリアコーディネーター／CAD利用技術者／再開発プランナー／知的財産管理技能士 など

■卒業後受験可能なもの（履修科目指定）

一級建築士（実務経験2年）／二級建築士および木造建築士／インテリアプランナー／インテリア設計士／商業施設士 など

平成26年度 進路実績



■就職先一例（順不同）

デザイン情報コース（現メディアデザインコース）

カメイ㈱／凸版印刷㈱／六三印刷㈱／宮城県商工会連合会／山形おきたま農業協同組合／日新火災海上保険㈱／㈱河北アド・センター／㈱日立情報通信エンジニアリング

空間デザインコース

いわき市／スターツコーポレーション㈱／住友林業ホームテック㈱／セキスイハイム東北㈱／登米市／丸紅コミュニティ㈱／㈱長谷工コーポレーション／㈱プリンスホテル

情報システムコース（現メディアデザインコース）

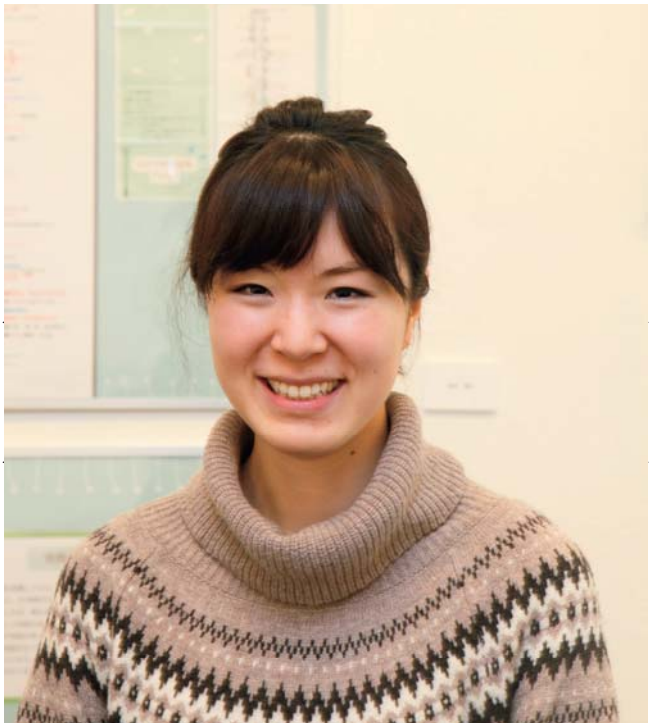
新日鉄住金ソリューションズ㈱／テクノ・マインド㈱／東日本電信電話㈱／㈱DNP情報システム／㈱NTTデータ東北／㈱サイエンティア／三井住友海上火災保険㈱／㈱野村総合研究所

■進学先一覧（順不同）

宮城大学大学院／東北大学大学院／慶応義塾大学大学院／情報科学専門学校

実感！ 新卒業生だから語れるデザイン情報学科のこと

学ぶための自由な環境。行動するほど成長した自分。



坂本 理江さん

デザイン情報学科 平成26年3月卒業
〔宮城県泉館山高等学校出身〕

大学では自分が一番興味のあった、デザイン分野についての知識や技術を習得しようと頑張りました。インターンシップでは先生の指導により、市役所と市議会議員のもとで都市計画やまちづくりなどに参加させていただくという、学生にしかできない体験でした。最後の課題は、議員さんに対し政策提言をするものでしたが、社会的な問題解決の困難さ、難しさを肌で感じました。いろいろな立場の意見を理解し、調整していく議員さんの知識の豊富さと、市民を思う熱い気持ちが身に染みてわかりました。

２～３年では「デザイン情報演習（※現在は「メディアデザイン演習」）」を学び、それまで苦手としていたプログラミング演習に取り組むことにしました。この講義では、プログラムを組んで作品をつくる課題が個人に課され、論理的な思考やクリエイティブな発想が求められます。この演習を通じて、私は諦めずに挑戦していく粘り強さと考える力を身につけることができました。「チームプロジェクト研究」では、学内外での活動が積極的なほど、コミュニケーション能力や協調性を向上させるスキルが修得できました。例えば、自分たちで選んだ大人向けの絵本を、実際の書店で展示販売いただくなど、大きな達成感がありました。

大学では、正解のない問題に、自分なりに答えを導く能力が求められます。私はその過程で、物事を追及する力や謙虚な姿勢を身につけることができました。限界を決めず、いろんな挑戦ができる環境を生かせたことが、一番の思い出です。

OGが語る デザイン情報学科



人に求められるモノをつくりたい。

アイリスオーヤマ株式会社　兵藤 さや花さん

平成25年3月卒業〔宮城県築館高等学校出身〕

豊かで快適な生活のための、さまざまな製品のメーカーと問屋機能を合わせ持つ、メーカーベンダーという独自の経営スタイルが当社の特長です。私は収納インテリア事業部でマーケティングを担当し、商品パンフレットの作成や売場演出のポップボード、タペストリーづくり、CM企画など、販売促進全般に関わっています。

毎週月曜日に会議があり、入社１年目の社員でも、新しい提案を社長に直接プレゼンテーションすることができます。その場で決裁が下りることもあれば、却下されたりやり直しを命じられることもあります。緊張もしますが社長との距離が近く、やりがいを感じています。

宮城大学では空間デザインコースを選び、インテリアに興味を持ちながら建築の勉強をしていました。インターンシップではインテリアコーディネートの仕事をさせていただき、サークル活動でも企業の協力を得ながらフリーペーパーをつくってきたので、すべての経験がいまのモノをつくる仕事に役立っています。企業やビジネスと直結したテーマに取り組めるところが宮城大学らしさで、私も成長できたと思っています。

食産業学部

School of Food,Agricultural and Environmental Sciences

恵まれた風土で、
生きることの基本である「食」を育み、
食と人をつないでいく知識と技術を学ぶ



Message

未来の食産業の担い手として
総合的な知識と人間力を養おう

齋藤 満保 Mitsuo Saito
食産業学部長兼研究科長

巨大産業に成長した食産業ですが、今後の持続的な発展のためには多くの課題があります。生産から消費の過程では安全・安心の担保や量的保証、適価維持が求められ、農林漁業を魅力ある職業として成立させるには「6次産業化」などの付加価値づくり、マーケットインの発想も重要です。食品残渣・廃棄物の適正処理や有効利用のための技術開発も必須で、震災後の宮城においては生産基盤の立て直しという喫緊の課題も抱えています。

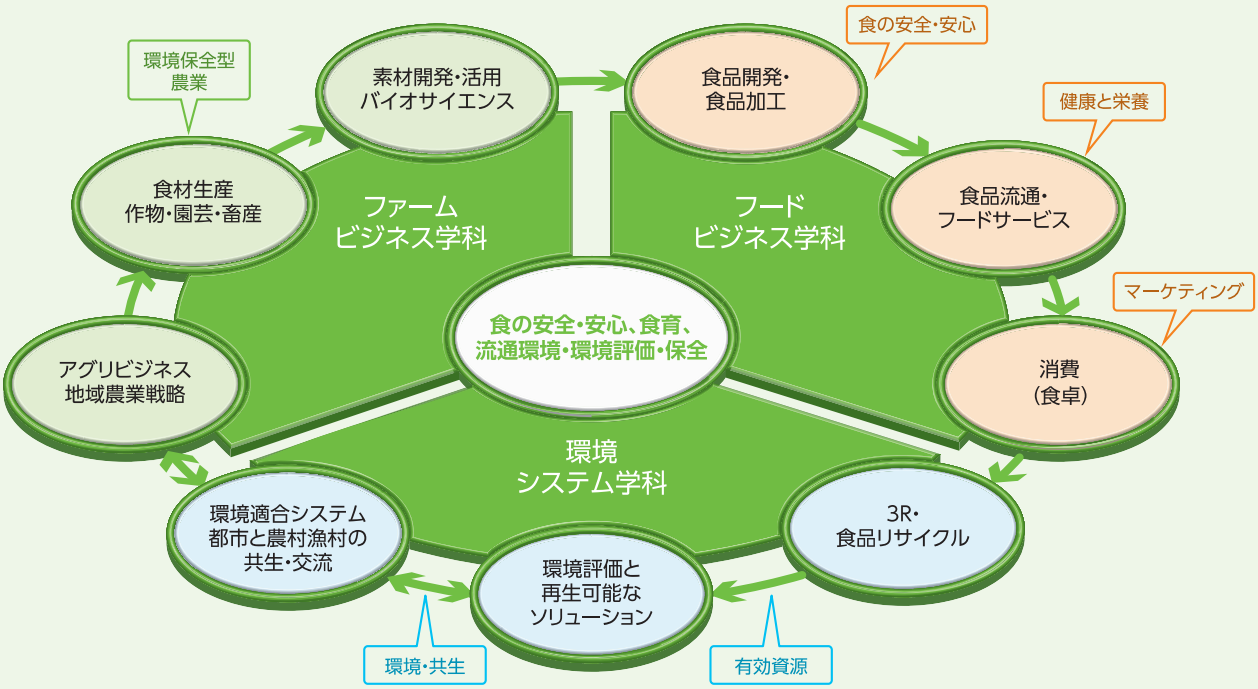
このような背景の中、食産業学部では、食の生産過程から加工・流通・消費、持続性のあるリサイクルまで含めた一連の産業を「食産業」として捉え、3つの学科構成で専門的な教育を行っていきます。隣り合う各分野の基礎的な知識を身につけ、食産業全体を把握した上で、あらためてそれぞれの専門分野を特化して学んでいくというのが大きな特徴です。

実際の作業工程に関わる能力・技術を養うために学内設備での実習も十分に組み込み、地域との連携のもと工場見学や企業訪問も展開しています。今後の拡大が予測される食産業のグローバル化に向けて外国語にも力を入れるなど、総合的な人材育成に取り組んでいます。太白山を臨む自然豊かな環境のもとで、明日の食産業を担う一員として高い「人間力」を養っていきましょう。

生命の源を支える食産業。
〝食〟と〝農〟と〝環境〟の未来を描くスペシャリストを養成。

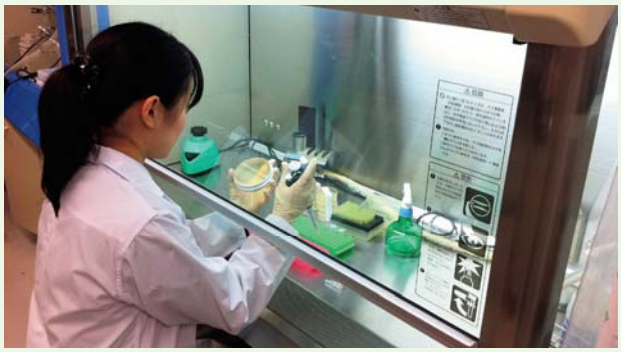
基本的・総合的知識を習得し、各専門分野の実践能力を身につけます

「食」と「農」に関して幅広く深い素養を身につけるため、自然科学系に加え
社会科学系科目も充実させ、ビジネスマインドあふれる人材を育てます。



学びの特徴

- 学部共通科目により「食」に関する基本的・総合的知識を養います。
- 履修モデルにより、各人のキャリア計画にあわせ着実・体系的に専門知識と技術を養います。また、基礎ゼミ等の少人数教育による学生一人ひとりの要望に適切に対応します。
- 演習・実演・ケースメソッドやインターンシップを重視し実践能力を養います。
- 仕事に使える実践英語と PC 情報処理能力を養います。

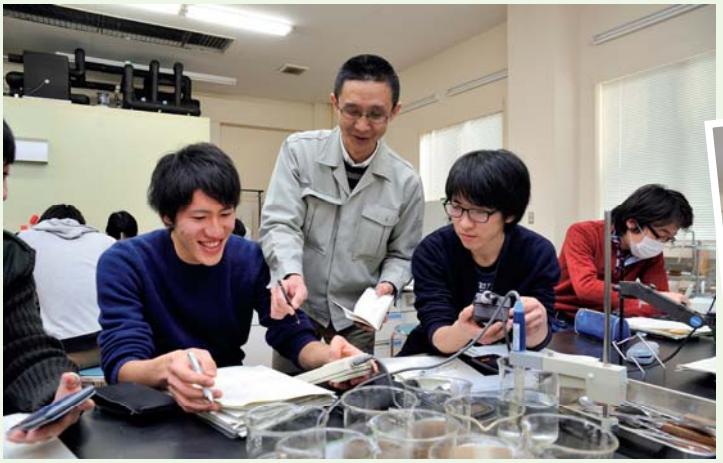


卒業後の進路

- 食品・飲料の製造加工分野における総合職、技術職
- 農畜産技術職・農業法人の経営者
- 環境設備・環境ビジネス分野の総合職、技術職
- 食品・飲料の流通・外食・中食産業分野における総合職、技術職
- 土地・地域環境整備の総合職・技術職
- 技術系公務員
- 進　学
  ※大学院博士前期課程

目指すはスペシャリスト

実践力をつける
実習・演習の舞台


土質材料実験

リサイクル実験棟



実験棟



コンピュータラボ


農業経営戦略実習


基礎統計学


ネットワークとデータベース

化学実験室



生物物理実験室



クリーンベンチ室



水利実験棟



材料実験棟



北・南研究棟



食品加工棟



特殊機器室



食産業学部教員一覧

■ファームビジネス学科

食産業学部長兼研究科長、教授
齋藤 満保（栽培学）

教授
井上 達志（動物飼料・動物管理学）
大竹 秀男（草地学、土壌動物学）
木村 和彦（土壌肥料学）
小林 仁（動物生殖学）
中村 茂雄（植物病理学）
森本 素子（動物免疫学）

准教授
岩井 孝尚（植物生理学）
川島 滋和（農業経済学、計量経済学、農業経営学）
菊地 郁（花卉園芸学、施設園芸学）
須田 義人（動物遺伝育種学）
中村 聡（作物学）
日渡 祐二（植物遺伝育種学）

講師
紺屋 直樹（農業経済学）

助教
斎藤 秀幸（蔬菜園芸学）

■フードビジネス学科

教授
石田 光晴（食素材利用学）
川村 保（食品経済学）
津志田 藤二郎（健康栄養科学、食品分析化学）
西川 正純（食品機能学、水産利用学）
三石 誠司（経営学（戦略論・組織論）、国際取引、企業倫理）

准教授
石川 伸一（食品分子栄養学）
老川 信也（食産業情報学）
金内 誠（発酵化学）
君塚 道史（凍結保存、食品加工・貯蔵、水産食品）
菰田 俊一（食品衛生学、天然物化学）

基本的・総合的知識と技術を身につけるための施設・設備が充実しています。





大講義室

多目的ホール



共同低温室



ガラス温室



製図室



CAD室



キャリア教育

3年生向けの取り組み

■必修科目／産業実習（インターンシップ）

3年前期必修科目として「産業実習」があります。全員が夏季休暇中にインターンシップに参加します。インターンシップから帰ってくると、インターンシップ報告会を開催し、それぞれの学びを紹介します。

■必修科目／キャリア開発

3年後期になると、企業研究、面接、そしてグループディスカッションなどについても実践的にトレーニングする「キャリア開発」の講義があります。

■学内企業説明会

企業の個別説明会を随時開催しています。

■ R-CAP

自己分析・適職発見プログラム「R-CAP」を3年生全員が受験し、自分の性格や軸を見直す機会としています。

全学年対象イベント

■業界研究会

11月に県内外から20社程度の企業を招き、カフェテリアで業界研究会を開催しています。学生の参加者のほとんどは3年生ですが、意識の高い2年生や1年生も参加します。企業の人事担当者に業務内容や業界について話していただきますが、実際に企業で活躍するOB・OGが説明者として参加する場合もあり、自分の将来像を考える貴重な機会となっています。

■個別指導

キャリア開発センターでは、進路についての簡単な相談から、面接トレーニングや履歴書の添削まで、予約制で個別に指導しています。

TOPICS トピックス

食産業学部の「地域」との関わり

南三陸町 志津川産タコのブランド化

宮城大学食産業学部は「南三陸町コミュニティ復興支援プロジェクト」の一環として南三陸町の特産品である志津川産タコのブランド化を支援しています。西川正純教授と学生のグループは志津川産のタコを多くの方に知っていただくために、「南三陸志津川　たこグルメコンテスト」を開催しました。人気の高かったメニューについては、詳細な商品企画案を作成し商品化も検討中です。食産業学部では、こうした活動を通して地域産業の活性化に取り組んでいます。



白川 愛子（栄養学、食育）
都 世蘭（食品マーケティング）
堀田 宗徳（フードサービス産業論、外食・中食企業経営戦略）
毛利 哲（食品加工・流通）
森田 明（食料経済学・食産業史）

助教
木下 英樹（腸内細菌学、プロバイオティクス）
谷口 葉子（農業経済学）

■環境システム学科

教授
岩堀 恵祐（環境保全工学）
笠原 紳（生物資源利用学）
北辻 政文（建設環境材料学）
郷古 雅春（水資源利用学）
富樫 千之（地域資源利用学）
原田 茂樹（水環境工学）
森山 雅幸（ランドスケープデザイン）

准教授
神宮字 寛（農村生態工学）
千葉 克己（土地改良学）
原田 鉱一郎（凍土学、雪氷学）

講師
伊吹 竜太（環境制御、伝熱工学、流体力学）

助教
高橋 信人（自然地理学（気候学）、地理情報科学）
柳澤 満則（生物化学工学、バイオマス変換工学）

共通教育（学部兼務）
准教授
河西 敏幸（健康科学）
小島 さつき（英文学）

ファームビジネス学科

Department of Farm Management



生産から流通まで、「農」と「食」を総合的に見渡せる能力を養う

4年間の学びのフロー

将来の進路に合わせて選択できる３つの履修モデル。学科を越えた多種多様なカリキュラムで、食の生産から加工、消費、環境対応について幅広く学ぶことができます。

1年 前期 ／ 後期 ／ 2年 前期

共通教育科目を中心に、科学全般の基礎固めをする

●共通教育科目の詳細はP45・P46参照　［単位数比率（4年間）］共通:専門＝1:3

植物生産科学モデル

先端的かつ持続的な農業の推進に貢献できる農業技術指導者をめざすために、植物生産に関する科学的知識を身につけます。

動物生産科学モデル

先端的かつ動物福祉に配慮した動物産業の推進に貢献できる技術者をめざすために、動物生産に関する科学的知識を身につけます。

経済・経営モデル

農業経営の高度化、農業関連ビジネスの総合化、地域経済の活性化に貢献できる人材となるために、経済・経営に関する実践的知識を身につけます。

基礎ゼミ

前期 **「基礎ゼミ」でこれから始まる大学生活や勉学の基本を学ぼう。**

5～6人ずつの小グループに分かれ、研究室に集まってテーマを決めて議論し、プレゼンテーションやレポートのまとめ方を学びます。大学生としての基本的なスキルを身につけます。

前期 **「食材生産実習」がスタート。食材生産の基礎を身につけよう。**

私達の食材がどのように作られているか？坪沼附属農場のフィールドを使って、農作物の栽培管理や、家畜の飼養管理を学びます。

後期 **「科学基礎実験」で実験・実習の基礎力をしっかりと身につけよう。**

顕微鏡を使った植物、動物の組織観察や無機化合物の定量実験を通して、生物と化学の基礎的実験センスを養います。

前期 **経営学、経済学の基礎となる「経営経済基礎数学」を学ぶ。**

数学的思考を養うとともに、数学が経済学、経営学の中でどのように使われているかについて学びます。

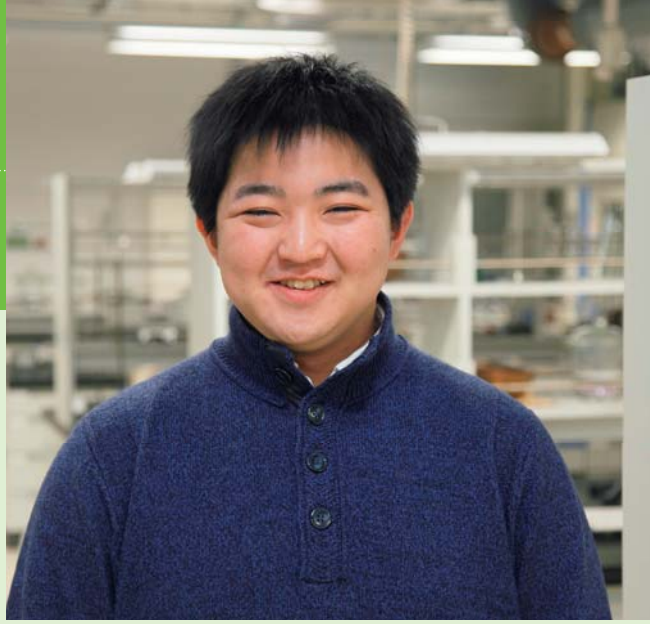


	1年 前期	1年 後期	2年 前期
必修科目	英語Ⅰ 基礎ゼミ 食産業学Ⅰ 植物生産概論 食材生産実習	英語Ⅱ 基礎統計学 科学基礎実験 経済経営学基礎 動物生産概論 食産業基礎演習 植物生理学 食材生産・加工実習	英語Ⅲ フードコミュニケーション 応用統計学
主な推奨科目	化学概論 生物概論	食産業学Ⅱ	分子生物学 食品化学 経営経済基礎数学 食料経済学 バイオ基礎実験及び実験法

ファームビジネス学科 私のおすすめポイント

実習で得られる実践的学び。小さな夢も大切に育てたい。

食産業学部ファームビジネス学科2年
末永 智大さん
宮城県仙台南高等学校出身



“食に関する仕事に就きたい”と、漠然としてはいましたが、そこだけは譲れないという信念をもってファームビジネス学科に入学しました。また同時に、自分の食に対する潜在的な能力を引き出せるかもしれないと、いろいろなことに挑戦しようと思い学び始めました。

私は小さいころから自宅の庭などで遊ぶのが好きで、自然と植物に興味を持つようになりました。その植物がどのように食物になるのかを知るために、「植物生理学」を学びました。それまでの生物の知識にはなかった新しい知見と、講義を受けるたびにさらに深い上積みが得られ、毎回楽しみで純粋に面白いと感じる内容でした。

「基礎統計学」も、いままでの自分にはなかった分野でしたので、すべての学びが役に立ちました。実験結果の分析や、商品製造の調査報告などに活用できるような、将来、そのまま必要となる実践的な内容でした。

動物や畜産についてはあまり関心がなかったのですが、「動物生産概論」は、消費者の立場として非常に有意義な学びでした。例えば、和牛と国産牛の違いなどを知ることはとても新鮮でした。“食”は非常に身近な学問対象ですので、毎日の暮らしのなかに学びが直結していること、そしてその重要性にあらためて気づかされました。

インターンシップは柏市にある植物工場でした。そこは千葉大学と企業、商業施設が一体となった大型施設で、生産された植物も販売されていました。見学だけでなく収穫体験もでき、今後の私の研究テーマにしたいと思うほど、夢のある取り組みに感動した思い出深い１週間でした。

後期 — 3年 — 前期 — 後期 — 4年 — 前期 — 後期 — 卒業

キャリア開発 就職活動を意識し、自らのキャリアを形成していきます。

長期インターンシップ 企業や行政等での実地研修。大学で学ぶ理論と社会の実態を自らの体験を通じて関連づけます。

卒業研究
卒業研究のテーマを設定し、実験や調査の結果を考察します。発表会では、自信を持ってプレゼンしよう!



後期 食の中心となる穀類、マメ類、イモ類を、「食用作物学」で基礎から学ぶ。

人類は、長い時間をかけて美味しい食用作物を数多く作りだしました。イネなどの穀類のほか、マメ類、イモ類の形態や生育特性、栽培方法などに関する基礎を身につけます。



後期 「分子遺伝学」で作物や家畜の品種・系統をつくる基礎を学ぶ。

分子生物学を基礎として、生物の細胞、個体、集団における遺伝の法則を追求し、新たな品種・系統を作出する方法を学びます。

前期 選択したモデルの専門分野を学び、「キャリア開発」で自分の進みたい道を考える時。

植物生産科学モデルと動物生産科学モデルでは、専門的な科目を講義と実験・実習による体験を通して学び、より深く各分野を理解します。経営・経済モデルでは講義とケースメソッド等による演習により深く経済、流通を学びます。これらの学びの中で学生自身は将来の進路に対する適性や希望を考え、「キャリア開発」の講義によって実現できるような就活のスキルを学びます。

後期 「ファームビジネス基礎研究」で専門分野の学びをさらに深め、卒業研究に向けて準備をしよう。

仮配属が決まった研究室で、卒業研究に必要な研究手法について理解を深め、最新の研究の意義について議論します。また、論文の書き方の基礎を学びます。

前期 ファームビジネスの今を学ぶ…「ファームビジネス特別講義」

毎回ゲストスピーカーを呼んで、農業や食産業の最前線の話題についての講義を聞きます。

農業経営学

ファームビジネス基礎研究

マーケティング論
地域食産業論
食用作物学
動物生産管理論
土壌肥料学
農業経済学

食料・農業・農村政策
園芸学Ⅱ
資源作物学
植物遺伝育種学
植物病理学
園芸・作物実験実習Ⅰ
植物生理生態実験Ⅰ
動物衛生学
動物生殖学
草地環境管理論
動物栄養と飼料
動物遺伝育種学
動物機能形態学
動物実験及び実験法Ⅰ
生産環境実験実習

食産業政策論
食品企業経営論
リスクアナリシス
フードサービス産業論
農業経営経済演習
食品マーケティング戦略演習Ⅰ
環境保全型農業論
農業気象学
動物発生工学
動物実験及び実験法
昆虫管理学

食品生化学
微生物学
地域農村社会論
食品流通論
財務・会計論
園芸学Ⅰ
動物生産実習
海洋生物生産概論
分子遺伝学

国際食品企業論
アグリビジネス論
フードサービス事業運営論
食品マーケティング演習Ⅱ
動物福祉論

学びを深めよう!

特色ある主な科目

植物生産概論[1年次]

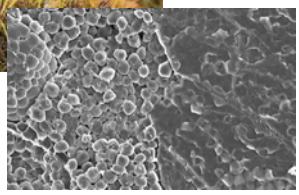
衣食住に関わる植物資源の利用は、人口が増え、文化が高度になるに従い、採取による原始的なものから栽培により積極的に生産する方法へと変化してきました。この講義では、多種多様な植物資源のうち、農作物、園芸作物を中心にそれらの分類から、生産状況、生態・生理、栽培管理技術、遺伝子工学まで幅広い分野を取り上げ、基本的かつ重要な事項について学びます。

園芸・作物実験実習Ⅱ[3年次]

作物生産、特に収穫や収量に関わる知識・技術の理解を深めるため、収量調査を行うとともに、得られたデータの解析方法について学びます。また、作物の組織形態観察を行い、組織構造に関して理解を深めます。講義だけではなく、実際にフィールドに出て様々な管理作業を体験することで、生産現場で起きている事象を科学的な視点で観察する力を身につけることができます。



フィールドでの水稲収量調査



トウモロコシの胚乳の走査型電子顕微鏡(SEM)写真
左：軟質デンプン組織
右：硬質デンプン組織

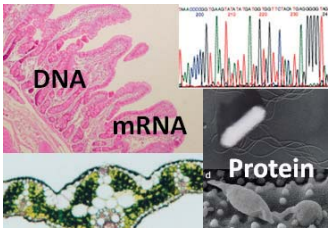


動物生産実習[2年次]

体験しながら畜産全般を学ぶことができる内容になっています。広い牧草地で家畜のエサとなる乾草を調製したり、牛の体型審査や、ブタを使っての解剖を行ったりします。骨がついた肉(枝肉)から、骨を取り薄切りの肉にまで仕上げる実習も含まれ、ハム、ベーコンやソーセージを実際に製造し、味わうことができます。

分子生物学[2年次]

分子生物学は、生命現象を分子のレベルで解明しようとするもので、バイオテクノロジーを習得するための基本科目です。本講義では、核酸(DNA/RNA)およびタンパク質の構造と性質から遺伝子の発現調節機構までの概要を学んで、生物の遺伝情報の複製と伝達についての分子機構を理解します。また最新の遺伝子組換え技術についても学びます。



■ファームビジネス学科が推奨・サポートしている資格

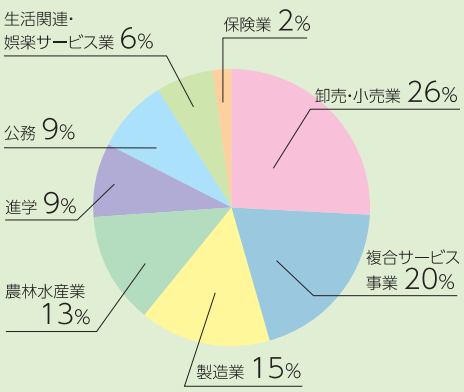
家畜人工授精師

畜産農家だけでなく、農協や牧場職員、大学や研究機関の家畜担当者が必要とする国家資格です。牛の人工授精又は受精卵移植を行う場合に必要となります。通常は、都道府県等が行う家畜人工授精に関する講習会を受講し、その試験に合格する必要があります。本学で開講している指定科目を履修すれば、学内の講習会を受講するだけで、比較的簡単に家畜人工授精師(牛)の資格が得られます。

食の6次産業化プロデューサー

生産(1次産業)、加工(2次産業)、流通・販売・サービス(3次産業)の一体化や連携により、地域の農林水産物を活用した加工品の開発、消費者への直接販売、レストランの展開など、食分野で新たなビジネスを創出する人材です。「わかる(知識)」「できる(実践的スキル)」のうち、本学科は「わかる(知識)」のレベル2までの育成機関です。所定科目の単位を取得することで認定されます。

平成26年度 進路実績



■就職先一覧(順不同)

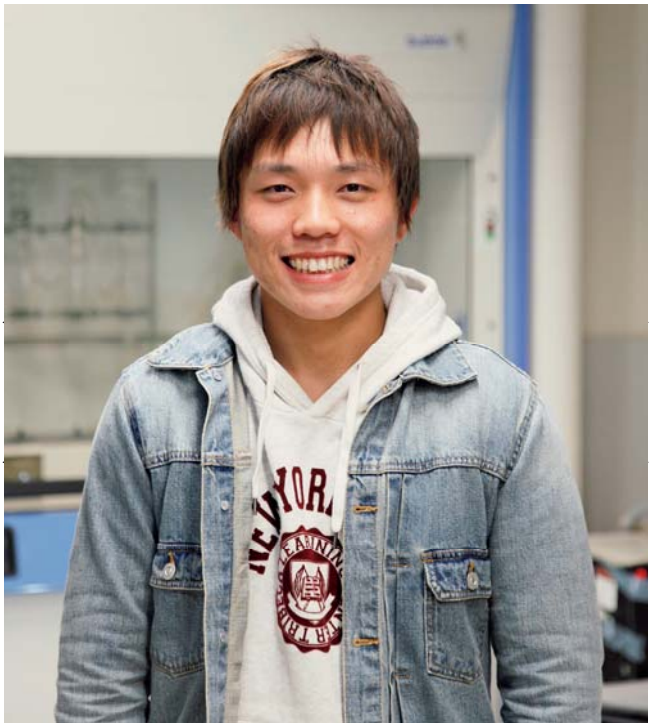
農林水産省／宮城県／三井食品(株)／カメイ(株)／
仙台コカ・コーラボトリング(株)／越後製菓(株)／宮城県信用保証協会／
イオンスーパーセンター(株)／(株)ヨークベニマル／(株)青木商店／
JA全農北日本くみあい飼料(株)／(有)竹鶏ファーム／多賀城市／
全国畜産農業協同組合連合会／仙台農業協同組合／いしのまき農業協同組合

■進学先一覧(順不同)

宮城大学大学院／東北大学大学院／筑波大学大学院

実感！ 新卒業生だから語れるファームビジネス学科のこと

食を担う誇りを大切に。農業をビジネスにしたい。



相澤 正樹さん

ファームビジネス学科 平成26年3月卒業
〔宮城県仙台東高等学校出身〕

実家は農業を営み、私は農家を継いでいきますが、日本の農業をしっかりした産業にしていきたいと思っています。宮城大学のファームビジネス学科で農業を技術面だけでなく、マーケティングなどの経営的な観点からも学ぶことができたので、農業を食の産業として経営に取り組んでいきます。

「農業経営戦略演習」では、パソコンを使用しながらさまざまな企業の経営を分析し、農業経済学や農業開発論などを通し、農業経営の基礎が学べました。また、「植物工場実験実習」では、植物生理学の視点から農業施設設計を勉強して、実際にいちご農家の現場を訪問しました。そこで使用されている栽培装置を見学し、農家の方の声を聞くことも、貴重な実習となりました。動物飼料や畜産管理の面から学んだ「動物生産理論」では、アメリカの大規模農業の映像が紹介され、大変興味深いものがありました。その後の実習でも酪農の農家を訪問し、座学での知識と結びつけることができました。

別の学科のフードビジネスの科目も受けられ、「食材加工実習」では豚のとさつや枝肉からの切り落としが見学でき、生産から消費までの流れを確かめることができました。

私は、オープンキャンパスで訪れたときの、フルーツトマトの甘さと種類の多さに驚き、感動したことが忘れられません。小さな感動や発見が農業の楽しさの根幹だということを、新規就農者や後継者のみなさんと一緒に考え、新しい農業を実践していきたいと思います。

OBが語る ファームビジネス学科



農家と同じ目線で考える人になる。

みどりの農業協同組合 涌谷営農センター 佐野 巌さん

平成25年3月卒業〔宮城県小牛田農林高等学校出身〕

JA みどりのは宮城県北の１市２町をエリアとする農業協同組合で、私は涌谷営農センターに勤務して２年目になります。最初は資材販売や野菜の出荷作業なども経験させていただき、現在は営農指導を担当しています。稲作をはじめ麦、大豆などの育苗指導や、栽培期間中の農家からのさまざまな相談に対応する毎日です。

実家が農家で、農協の仕事を多少は見聞きしていたので、早く馴染むことができましたが、営農指導には経験が必要です。宮城県古川農業試験場へ研修に行ったり、農業改良普及センターの現地検討会に参加するなど、いまも吸収することは山ほどあります。

宮城大学では３年後期から齋藤満保先生に師事し、早朝から水田や畑の生育調査に同行させていただき、毎日楽しく学びを積み重ねることができました。また、「水田利用研究室」のゼミ仲間たちにも恵まれました。みんな土に触れることが好きで、思い出に残る時間を過ごすことができました。これからも、少しでも早く農家さんから頼りにされる存在になれるよう、１日１日を大切に頑張っていきたいと思います。

フードビジネス学科

Department of Food Management



経営管理と食品科学、両方の知識・技術を兼ね備えた食のスペシャリストを目指す

4年間の学びのフロー

将来の進路に合わせて選択できる２つの履修モデル。学科を越えた多種多様なカリキュラムで、食の生産から加工、消費、環境対応について幅広く学ぶことができます。

1年 前期 ／ 後期 ／ 2年 前期

共通教育科目を中心に、科学全般の基礎固めをする

●共通教育科目の詳細はP45･P46参照　［単位数比率（4年間）］共通:専門＝1:3

食品流通・フードサービスモデル

食品製造業、食品流通業およびフードサービス産業で活躍できるビジネスリーダーとなるために、食品に関する基本的な知識に加え、経営やマーケティング、食品産業、消費者教育等に関する専門的知識を学びます。

食品加工・衛生モデル

食品産業の技術・製品開発や安全性管理等において活躍できる技術者となるために、食品に関する基本的な知識に加え食品製造、食品流通、食品衛生、健康・栄養等の技術に関する専門的知識を学びます。

基礎ゼミ

前期 論理的に考える力を養う「基礎ゼミ」からスタート。

少人数教育によって、これまでの単なる暗記学習から脱却して、「主体的に考える」ための文献の読み方やレポートのまとめ方ができるようなトレーニングを行います。

前期 学部の教育範囲である「食産業学」で「食」を幅広くとらえる。

食の生産から販売までにおいて重要な役割を果たしている食産業全体について、「農」、「食」、「環境」を中心に、その現状といろいろな課題について学習します。



後期 「科学基礎実験」で、実験の基礎力を身につけよう。

生物と化学の分野において、より高度な実験に対応できるような実験センスを身につけます。



前期 食品を実際に手作りする「食材加工実習及び加工法」。

食品の安全を意識しながら、地場の生鮮素材を中心に使用し、さまざまな食品を手作りします。また、関連する大規模な食品工場も見学します。



前期 経済学の視点から「食」を学ぶ「食料経済学」。

食料やフードシステムをめぐって、世界では、また日本ではどのような問題が起こっているのかという知識を身につけます。

	1年 前期	1年 後期	2年 前期
必修科目	英語Ⅰ 基礎ゼミ 食産業学Ⅰ 植物生産概論 食材生産実習	英語Ⅱ 基礎統計学 科学基礎実験 食品有機化学 食産業学Ⅱ 経済経営学基礎 食産業基礎演習	英語Ⅲ 日本語 食材加工実習及び加工法 フードコミュニケーション 応用統計学 食品化学 食料経済学
主な推奨科目	化学概論 生物概論	動物生産概論 ネットワークとデータベース 財務･会計論	食品企業組織論 食品基礎分析実験及び実験法

フードビジネス学科 私のおすすめポイント

食品の実習はいつも楽しみ。基礎も専門も広く深く学べる。

食産業学部フードビジネス学科3年
三塚 ちあきさん
宮城県古川黎明高等学校出身



フードビジネス学科の講義は、文系と理系の科目でバランスよく構成され、幅広い学びのなかで自分の適性が見えてきます。例えば、私はマーケティングなどの文系科目や、分析・微生物実験などの理系科目も必修科目として学んでいます。

また、実習の豊富さと楽しさは、宮城大学の魅力でもあります。１年前期では坪沼農場に行って家畜の世話をしたり、田植えをしたりする実習があります。２年生になると、加工棟で缶詰や笹かまぼこなどの食品を、一からつくる食品加工実習があります。作業服を身につけ、衛生管理を徹底した実習は、普段できないことばかりで、とても楽しいものでした。

私は将来、食品の企画や開発に携わる仕事に就きたいと思っています。今詳しく学びたいことは、“新製品開発”や“マーケティング戦略”について、また“外食産業の動向”、どうしたら“ヒット商品をつくる”ことができるか、などなどです。しかし、興味ある分野はまだたくさんあります。希望進路は文系ですが、これからの学びのなかで新しい夢が芽生えてくるかもしれません。とにかく今できることは、好きで興味ある分野を突き詰めていくことだと思っています。

とにかく食べ物が好きな私の趣味は、いろいろなお店に行ったり、調べたりすることです。例えば、カレー屋さんやパン屋さんで食べたり、新しいメニューを確かめに行ったり、スーパーやコンビニエンスストアで新商品を手にしてみたり、そのようなことに時間を使っています。

「食」が好きなら、広く深く学べる宮城大学の環境は素晴らしいの一言です。文系・理系の学びのなかで夢や目標が見えてきたら、それを実現するレシピが必ず見つかると思います。

後期 | 3年 | 前期 | 後期 | 4年 | 前期 | 後期 | 卒業

キャリア開発 就職活動を意識し、自らのキャリアを形成していきます。

長期インターンシップ 企業や行政等での実地研修。大学で学ぶ理論と社会の実態を自らの体験を通じて関連づけます。

卒業研究
4年間の集大成である卒業研究の成果を、全員参加の報告会で分かりやすく発表します。



後期 「栄養学」で食と健康の基本を学ぶ。

栄養学の歴史から、食品の栄養素の種類や機能までを体系的に学びます。また、適切な食品摂取のあり方を理解するために、食事と健康・疾患の関係についても学びます。

微生物学
マーケティング論
地域食産業論
食品企業経営論
栄養学
食品衛生学実験及び実験法

地域農村社会論
食品生化学
海洋生物生産概論
フードシステム調査演習Ⅰ
フードサービス産業論
食品流通論

後期 「食品マーケティング論」でマーケティングを「使えるツール」にする。

プレゼンテーションを実施しながら、食産業におけるマーケティングの現状と課題を経営管理者の視点で俯瞰することで、現状における経営課題を認識し、将来への事業展望について考察します。



後期 卒業研究に向けた準備のために「フードビジネス基礎研究」で学ぶ。

本格的な卒論研究の前に、基本的な研究手法について理解を深めながら、最新の研究についてその意義について議論し、さらに、卒業論文レベルに必要な文章の書き方を修得します。

食品貯蔵・流通技術論
食品マーケティング論
フードビジネス基礎研究
食産業政策論
食品の安全性管理

フードシステム調査演習Ⅱ
国際食品経済論
食品製造・加工産業論
経営情報学概論
食品企業経営戦略論
フードサービス事業運営論
分子生物学
微生物学実験及び実験法
食品物理化学
食品機能学
品質保証システム演習
フードサービス事業演習
応用マーケティング論
eビジネス論
食品マーケティング戦略演習Ⅰ
食品企業ファイナンス論
食品企業経営戦略演習Ⅰ
食品化学実験及び実験法
食品工学
発酵食品・醸造学
リスクアナリシス
食品栄養・機能性実験及び実験法







後期 食と未来

学科教員がそれぞれの専門分野の未来を熱く語ります。

食産業・政策史
食品マーケティング戦略演習Ⅱ
国際食品企業論
企業倫理
食品企業経営戦略演習Ⅱ
ライフステージ栄養学

学びを深めよう!

特色ある主な科目



食品企業経営論[3年次]

この科目では、企業経営を行う場合に最低限理解すべき基礎的な課題について学びます。全体を4つに分け、パート1は導入(企業経営とは何か)、パート2は食品企業経営における諸機能(管理・組織・人事・資金調達・販売・戦略等)、パート3では、法律と技術との関わり(商法・独禁法・農協法・知的財産法等、加工・貿易・輸送・バイオテクノロジーや情報技術)との関係にも触れます。パート4では各種ステークホルダー(政府・行政、そして消費者団体や環境団体等)との関係を考察します。

発酵食品・醸造学[3年次]



発酵食品や醸造品は、我々の食生活にとって欠かすことのできないものです。微生物による発酵という現象を巧妙に利用した発酵食品・醸造品について歴史、地域、製造方法、微生物利用の知恵の面から学修します。具体的には酵母、乳酸菌、調味料といったテーマを挙げて学習を進めていきます。さらに、発酵食品・醸造品の栄養性・機能性について理解を深め、プロバイオティクスなど新しい考え方も学びます。

食品衛生学実験及び実験法[2年次]

食品企業にとって、食の安全性の確保は最も重要な事項の一つです。この実験では、微生物検査や食品分析等により食品の衛生検査を行い、これらに関する基本的な技術を修得することを目標にしています。具体的には、(1)培地作成や滅菌方法、生菌数測定などの微生物の基本的な取り扱い、(2)形態観察、DNA増幅などによる微生物の簡易的な同定、(3)食品添加物(着色料、保存料)や残留農薬の機器分析、(4)水質検査(ミネラル含量の測定)などを行い、技術と知識を養います。



■フードビジネス学科が推奨・サポートしている資格

食品衛生管理者

食品の製造や加工を行う施設で、衛生管理を行う責任者。工場や加工場で、食品衛生法上の違反がないかどうか、従業員の衛生管理ができているかどうかをチェックする業務です。所定科目の単位を取得し、食品関連企業等に就職し、衛生管理の職に就くことで「食品衛生管理者」となります。

食品衛生監視員

食品衛生上の問題を防ぐことを目的に、専門の検査や指導を行います。通称「食品Gメン」とも呼ばれ、国や自治体の公務員として職務にあたります。所定科目の単位を取得し、国や自治体の関連機関に採用されることが必要となります。

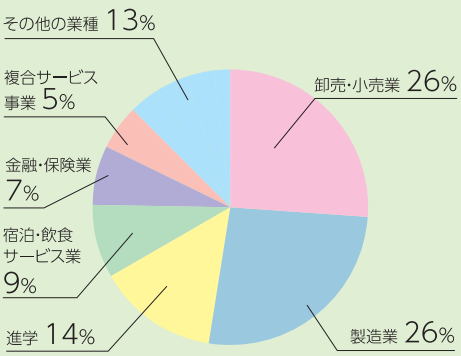
HACCP管理者

HACCPシステムとは、原料の入荷から製造・出荷までのすべての工程において、あらかじめ危害を予測し、その危害を防止(予防、消滅、許容レベルまでの減少)するための重要管理点(CCP)を特定して、そのポイントを継続的に監視・記録(モニタリング)し、異常が認められたらすぐに対策を取り解決することができるシステムです。HACCP管理者は、そのシステムを管理することができます。所定科目の単位を取得することで資格を取得できます。

食の6次産業化プロデューサー

生産(1次産業)、加工(2次産業)、流通・販売・サービス(3次産業)の一体化や連携により、地域の農林水産物を活用した加工品の開発、消費者への直接販売、レストランの展開など、食分野で新たなビジネスを創出する人材です。「わかる(知識)」「できる(実践的スキル)」のうち、本学科は「わかる(知識)」のレベル2までの育成機関です。所定科目の単位を取得することで認定されます。

平成26年度 進路実績



■就職先一例(順不同)

味の素ゼネラルフーヅ(株)／伊藤忠食品(株)／(株)日本アクセス／全国農業協同組合連合会宮城県本部／井ヶ田製茶(株)／(株)ロイズコンフェクト／白鶴酒造(株)／東北国分(株)／JR東日本東北総合サービス(株)／(株)藤崎／不二製油(株)／伊藤ハムデイリー(株)／東北労働金庫／宮城県警／フクシマフーズ(株)

■進学先

宮城大学大学院

実感！ 新卒業生だから語れるフードビジネス学科のこと

好きな「食」を「職」にする。ここなら挑戦できます。



佐々木 瑞季さん

フードビジネス学科 平成26年3月卒業
〔宮城県古川高等学校出身〕

食べることが好きなので、地元宮城で食につながることを仕事にしたいと考えて、食産業学部で学びました。高校ではどちらかというと理系でしたが、食品の生産・流通から食卓まで、幅広い領域にわたるフードビジネス学科で、文系・理系のいずれも楽しく勉強することができました。

印象に残る科目は「食材加工実習及び加工法」で、実際の食品工場のように徹底して衛生管理を意識し、食品の製造工程について学ぶものです。製造現場により近い形で実践できるので、学生たちにも人気の科目で、レポートの作成でより理解が深まりました。三石先生のグローバルな視点からの経営論「食品企業経営戦略論」は、とてもハードで深く分け入った内容でしたが、授業にともなうお話の中で、さまざまなことを学ぶことができました。経済や経営、社会情勢は知ってて当たり前。食品のことだけを学んでもだめという、先生の口癖「フードバカになるな」を肝に銘じています。

就職活動前に受講したこともあり、広い視野で考えられるようになったのは「食品企業ファイナンス論」です。金融に関する授業自体が少ないのですが、この授業をきっかけに、お金に関する正しい知識と金融の重要性を痛感しました。

3年生になり、理系と思っていた自分が川村先生の文系ゼミに所属しました。文理融合の学びの中で、マーケティングや食品経済学に興味を持ったからです。自分の柔軟さに気づき、人間の幅を広げてくれた大学に、あらためて感謝しています。

OGが語る フードビジネス学科



「食」が好きなら、やりたいことは見つかる。

株式会社ニチレイフーズ白石工場　古山 里美さん

平成25年3月卒業〔宮城県宮城第一高等学校出身〕

冷凍食品を中心とした食品を、全国で製造・販売しているのがニチレイフーズです。私は白石工場で、春巻の生産ラインの「成型工程」で勤務しており、春巻の皮や具材を成型する機械に充填するのが主な仕事です。業務用が多く、納品先ごとに春巻1本1本の長さや具材の種類、比率などが異なります。当初は具材が入っている器が重く感じたり、成型機の作業スピードに合わせるまでが大変でしたが、慣れるにつれ、いかに効率よくできるかが考えられるようになりました。

ほかのラインでは、蔵王山麓の牛乳を使用したグラタンやドリアも生産していて、地元の製品ということで喜んでいただいています。消費者からはイメージで捉えられがちな食を、フードビジネス学科の学びでは、食品業界の勉強を通じて、経済や流通のダイナミックな動向のなかで考えることができます。私もプライベートブランドや企業間取引を学び、食品や食材の見えなかった部分が理解でき、食品業界への興味をより深めることができました。いま食に携わる者として、食べることの大切さと責任を胸に、安全でおいしいものをつくり続けたいと考えています。

環境システム学科

Department of Environmental Sciences



食を支える地域の環境整備と「自然との共生」を重視した食産業の在り方を学ぶ

4年間の学びのフロー

将来の進路に合わせて選択できる２つの履修モデル。学科を越えた多種多様なカリキュラムで、食の生産から加工、消費、環境対応について幅広く学ぶことができます。

1年 前期 ／ 後期 ／ 2年 前期

共通教育科目を中心に、科学全般の基礎固めをする

●共通教育科目の詳細はP45・P46参照　［単位数比率（4年間）］共通:専門=1:3

基礎ゼミ

環境工学モデル

循環型社会実現をめざし、地域資源の高度利用とリサイクル、バイオマスからのエネルギー生産、水環境の評価と改善、地理情報の活用、生物機能による環境修復の方法について学びます。

地域デザインモデル

自然環境と調和し、環境負荷の小さい食料生産基盤の整備や、豊かで潤いのある生活空間としての農山漁村の設計、農地およびその周辺地域の環境保全に必要な知識と技術を学びます。

前期　コミュニケーション力や課題解決力を養う「基礎ゼミ」からスタート。

大学や社会で必要となる“チームで課題に取り組む力”を養います。“4年間で何を学ぶのか”という目的意識を持ちつつ、大学の学びの姿勢を理解する機会にもなります。

前期　食料生産基盤や環境の整備に必要となる測量技術を「測量実習Ⅰ」で習得する。

測量機器を使用して実際に測量を行うことで、測量機器の使用法、基本的な測量技術、および測量結果のまとめ方について学びます。



後期　「環境システム学」で学科の全体像を理解する。

環境システム学科で学ぶことができる幅広い分野について、それぞれの概要を把握することができます。

後期　様々な物の設計に必要となる製図に関する基本的な知識や技術を「製図実習」で習得する。

製図の基礎やコンピュータを用いた製図について学ぶことで、製図の表現方法や基本操作を身に付けます。



前期　「環境水質論」で我々の生活を取り巻く水環境を水質の観点から考える。

水質を構成する様々な指標について学ぶことで、水質に関する基礎的な知識を網羅的に理解することができます。

前期　「構造力学Ⅰ」や「地盤工学Ⅰ」を学び、食産業を支えるための基礎力を養う。

構造物の設計に必要となる力学や地盤と土に関する基本的な部分について学ぶことで、食料生産基盤や環境の整備に携わる技術者に必要とされる基礎知識を身に付けます。

	1年 前期	1年 後期	2年 前期
必修科目	英語Ⅰ 基礎ゼミ 食産業学Ⅰ 測量学Ⅰ 測量実習Ⅰ	英語Ⅱ 基礎統計学 科学基礎実験 食産業基礎演習 環境システム学	英語Ⅱ 応用統計学 環境保全論 再生可能エネルギー論 構造力学Ⅰ 地盤工学Ⅰ 環境水質論
主な推奨科目	化学概論 生物概論 植物生産概論	数学概論 物理概論 ネットワークとデータベース 製図実習	食品化学 測量学Ⅰ 測量実習Ⅱ 環境物理学 環境化学

環境システム学科 私のおすすめポイント

ランドスケープをさらに深く。故郷の復興に貢献する人材になる。

食産業学部 環境システム学科 4年
相沢 あすかさん
宮城県宮城第一高等学校出身



小さい頃から自然豊かな環境で育ったので、環境保護などに関心を持っていました。大学に入学後は、土地の整備や地質調査、測量など、農業の基盤整備について学んでいました。その頃は、役所の土木課などへの就職を希望していましたが、2年生になって、森山教授の「ランドスケープデザイン」の講義を受けて転機が訪れました。

ランドスケープとは、都市における広場や公園などの公共空間のデザインのことです。私はこの景観の分野に引かれ、都市景観はどうあるべきか、農村景観はどうすれば風土を生かせるかなどについての理解を深めていきました。日本の伝統的な庭園や昔からの桜並木などを訪れるフィールドワークも多く、よい景観についての議論を重ねました。

現在は、森山教授のランドスケープデザイン研究室に所属し、演習の授業で宮城蔵王えぼしスキー場の展望広場の設計を提案させていただきました。ランドスケープで大切なことは、「安全で快適な暮らしのための土地利用」そして「風土に根ざし、自然と調和した土地利用」を考えることです。日本ではまだメジャーな分野ではありませんが、震災の被災地である東北では今後ニーズが高まる分野だろうと思います。

また、宮城大学で行われている兵庫県立大学との大学間連携事業に積極的に参加しています。被災者の方々との交流や神戸への研修などを通して、今後の宮城の復興やまちづくりに必要な経験や知見を蓄えられるように日々励んでいます。

私はランドスケープの知識を深めるべく海外の大学院への進学をめざしています。将来は被災地の方々が故郷に戻り、安心安全な生活ができるまちづくりを行いたいと考えています。

後期 | 3年 | 前期 | 後期 | 4年 | 前期 | 後期 | 卒業

キャリア開発 就職活動を意識し、自らのキャリアを形成していきます。

長期インターンシップ 企業や行政等での実地研修。大学で学ぶ理論と社会の実態を自らの体験を通じて関連づけます。

卒業研究
卒業研究のテーマを設定し,実験や調査の結果を考察します。全員参加の報告会で発表します。







後期 「バイオマス利用論」で循環型社会の構築について考える。

近年注目されているバイオマスの利活用について、基礎知識から最新の研究例まで幅広く学びます。



後期 「農地工学I」で農地や農業にかかわる基礎知識を習得する。

食料事情、農地の役割、土壌の基礎について学びながら、農地を取り巻く問題や圃場に関することについて理解を深めます。

前期 「キャリア開発」

選択したモデルの専門分野を学び、「キャリア開発」で自分の進みたい道を考えます。専門的な科目を講義や実験・実習を通して学び、より深く各分野を理解します。これらの学びの中で将来の進路に対する適性や希望を考え、「キャリア開発」の講義によって実現できるような就活のスキルを学びます。

後期 「環境システム基礎研究」で卒業研究に向けた準備を進める。

「環境システム基礎研究」では、仮配属先の研究室で卒業研究に関する専門知識をさらに深め、必要となる研究手法について学びます。さらに、文献の調査や担当教員との議論を重ね、論文の書き方の基礎も学ぶことで、卒業研究の準備を進めます。

農地工学I
バイオマス利用論
環境衛生工学

食料・農業・農村政策
水理学

地域計画論
廃棄物処理論
環境システム基礎研究

食品生化学
微生物学
公園緑地設計論
土壌物理学
土壌・土質実験及び実験法

構造力学II
地盤工学II
環境物理化学
経営情報学概論

グリーン・ツーリズム論
景観デザイン論
農業水利学
土木構造物設計論
環境計測・制御論
生産・環境機械論
水環境再生論
環境生物工学
水質分析実験実習及び実験法
地理情報論

農地工学II
応用地質学
材料学

ランドスケープデザイン演習
環境水文気象学
生態環境工学
水理学演習
地域環境工学実験及び実験法
土木構造物設計演習
ストックマネジメント論
環境計測・制御実験実習及び実験法
遠隔画像評価・解析
生体計測技術論
画像処理・GIS演習

生態環境工学実験実習及び実験法
環境アセスメント論
廃棄物処理・リサイクル実験実習及び実験法
森林科学

学びを深めよう!

特色ある主な科目

測量学I［1年次］



測量学Iは、1年生前期に行われる専門必修科目です。測量学とは、地球表面上の処地点の位置決めを行う技術であり、具体的には距離、高さ、面積などを正確に測り、さらに、そのデータをもとに地図や構造物の図面を作成します。測量学Iでは、基本測量について目的に応じて、方法および理論の基礎を学びます。また、さまざまな機器を併用する学問であるため、机上の学習だけでは理解しにくい側面がありますが、測量実習Iと連携しながら技術を深めます。

生態環境工学実験実習及び実験法［3年次］



本実験実習及び実験法では、最初に、動植物を対象とした生態学的調査の基本技術を習得するために生態学の基本事項を学びます。次に、生態系の概念や生態系の現状を調査および評価する手法について実験・実習を通して理解を深めます。フィールドを実践の場として、動植物の分類同定、標本作成・管理、データ整理・分析作業も行います。



環境計測・制御実験実習及び実験法［3年次］

環境計測・制御実験実習及び実験法では、水質の調査手法や、温度・風・光などの物理環境の測定方法について学びます。水質調査は化学的手法を主に用いて、学外にあるため池の水質、飲食物残渣を廃棄した場合の環境負荷などについての実験を行います。

物理環境の測定では、学内各所での測定や光源の特徴と省エネ性能など様々な空間において、適応できる環境計測の手法について実験を通して学びます。

■環境システム学科が推奨・サポートしている資格

環境再生医

所定の科目の単位を取得し、学内で実施される資格検定試験に合格すれば環境再生医（初級）の資格が在学中に得られます。（環境システム学科は資格検定実施校として認定）

測量士および測量士補

技術者として基本測量と公共測量に従事するために必要な国家資格です。環境システム学科は測量法施行令第14条に規定する「相当する学科」に認定されています。測量士補は所定の科目の単位を習得し、当学科を卒業することで登録資格を得られます。測量士は所定の科目の単位を習得し、当学科を卒業後実務経験1年で登録資格を得られます。

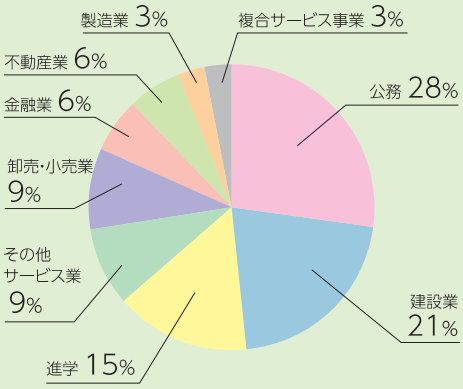
自然再生士補

自然再生に必要な基礎知識を有する、自然再生の推進者です。所定の科目の単位取得により資格を得られ、自然再生士資格試験の受験に必要な実務経験年数を短縮できます。

ビオトープ管理士［資格試験一部免除認定］

自然や歴史、文化など、地域で受け継がれてきた貴重な財産を活かし、かつ国際的な動向を踏まえつつ、自然と伝統が共存した美しいまちづくり・くにづくりを実践する技術者です。所定の科目の単位取得により2級ビオトープ計画管理士、2級ビオトープ施工管理士の資格試験（筆記試験）が一部免除されます。

平成26年度 進路実績



■就職先一覧（順不同）

農林水産省／東北農政局／東北地方整備局／（株）七十七銀行／大東建託（株）／宮城県／東京都／カメイ（株）／仙建工業（株）／ホーマック（株）

■進学先一覧

宮城大学大学院／東北大学大学院／横浜国立大学大学院

実感！ 新卒業生だから語れる 環境システム学科のこと

環境づくりから環境問題まで。学びながら視野が広がる。



渡辺 怜奈さん

環境システム学科 平成26年3月卒業
〔宮城県宮城第一高等学校出身〕

小学生のときの総合的学習で環境について学び、それから環境について関心を深めていきました。大学のサークルは自然研究部に属し、キャンパス内の山菜を摘んで天ぷらにしたり、タンポポの根っこでつくるタンポポコーヒーやよもぎ餅をつくって食べたりしたのは楽しかったですね。

環境システム学科のよさは、学ぶにつれてどんどん視野が広がり、また新たな自分が見つかることです。一つの小さな興味が、数々の学びに触発され、新たな芽を吹くのです。

私が最初に興味を持ったのは「測量実習」で、実際に測量機器を操作して学ぶことができます。１年生の履修科目でもあり、実習を通して学科の学生と仲良くなれる科目の一つでした。「食産業LCA論」は、ある製品の誕生から廃棄に至るまで、全行程で発生する環境負荷を評価するものです。これにより、環境問題は一つの改善ではなく、全体を見渡した取り組みが大切だと知りました。

心を動かされたのは「環境生物工学」です。目に見えない微生物がさまざまな能力を持っており、環境修復やエネルギー問題に貢献し得る可能性は計り知れないと思いました。卒論では、土壌汚染に対する微生物による除去とその評価に取り組みました。

卒業した今は、生まれ育った宮城や東北に、少しでも何か還元できるような人間になりたいと思っています。そしてこれからは、食を支える多くの方々をサポートできるように、自分にできることをしていこうと考えています。

OBが語る 環境システム学科



農家の方々と農業のために貢献したい。

農林水産省 東北農政局 小林 圭介さん

平成25年3月卒業〔岩手県立盛岡第四高等学校出身〕

東北農政局に入省し、水路や水田の整備等を行う整備部へ配属となりました。私の所属する設計課事業調整室では農林水産省本省や東北農政局内各課、管内各事業（務）所、管内各県のつなぎ役として、各種企画や予算総括、広報活動等の連絡・調整を主に担当しています。例えば昨年は、“仙台七夕まつり”において宮城県やみどりねっと宮城と連携してブースを設け、パネル展示やザリガニ釣り体験、特産品販売等を通じて、農業農村整備事業への理解を深めていただきました。

私は実家が農家ということもあり、生物多様性にも興味があったため、宮城大学環境システム学科へ入学しました。食糧生産や水利学の観点など、幅広い学びの中から、農業農村工学の分野に興味を持ち、農家の方々や農業に貢献したいと考えるようになりました。

いま国の基幹産業である農業の基盤整備に関わるようになり、農林水産省本省と地元とのつなぎ役としての役割を与えられ、農業農村の振興のために働くことに身が引き締まる思いです。

共通教育

人間・社会人としての基礎力を身につけるために

教養教育の強化

宮城大学では、本学で得られる専門的な知識や経験が社会人になって十分に発揮されるために、その専門性を支える人間としての基本的な力＝人としての教養が重要だと考えています。学部ごとの専門的な学問だけではなく、英語、数学、情報リテラシー、ライフサイエンス、歴史、哲学、宗教学、芸術学などを学び、社会から求められる人材となるよう、生涯にわたって必要な教養を身につけます。





まず人間として大きくなり、学びを深めたい。

事業構想学部事業計画学科 2年 **佐藤 光**さん
〔宮城県古川高等学校出身〕

教職志望でしたが、震災を機に父の働く姿を見て、早く地域に関わり、まちづくりに参加したいと思うようになりました。宮城大学では経営と地域貢献を学ぶため、その基礎となる教養分野の講義に力が入りました。「コミュニケーション」では、人と人がどのように接し、伝えることができるかという本質を興味深く学べます。「英語」も好きな科目で、クラスはTOEICのスコア別に編成されます。緊張感にあふれますが、ネイティブの先生もおり、英語力は確実にアップします。人間として成長するためにも、幅広い教養を身につけることが重要だと思いました。



［共通教育科目］



■リメディアル教育

学び続けていく上で基本となる自然科学的な見方や考え方、
基礎となる知識や理解を培う科目

●数学基礎　●物理基礎　●化学基礎　●生物基礎

■リベラルアーツ

人間形成・鍛練をうながす科目

●宗教学　●日本の歴史・文化　●東南アジアの歴史・文化
●哲学　●音楽　●美術　●健康科学

※平成26年度開講科目

◆語学
英語IA―VI
中国語I・II
韓国語I・II
語学講義I・II

◆情報リテラシー
情報処理
基礎統計学

◆人文・社会科学
心理学
現代社会論
憲法
経済学概論

◆人間形成科目
基礎ゼミ
宗教学
日本の歴史・文化
東南アジアの歴史・文化
哲学
音楽
美術
健康科学
コミュニケーション
Global StudiesI・II
スポーツ実技

◆基礎科学
数学基礎・概論
物理基礎・概論
化学基礎・概論
生物基礎・概論

◆特別講義
特別講義I・II

◆留学生対象
日本事情I・II
日本語 I ―IV

Global Studies I

〈ティモシー・ジョン・フェラン教授〉



地球規模で起こっている諸問題を解決するために、世界中の人々は国の垣根を越えて協力し合うことが不可欠です。この授業では、環境やエネルギー課題、人口問題や富と貧困、科学技術、健康など、世界が抱える共通課題について、1コマ90分間を通して英語で学びます。

グローバルな問題について多方面から捉え、考える力を養うとともに、英語を読み聴きする力を身につけます。

各センター教員一覧

■国際交流・留学生センター
教授
ティモシー・ジョン・フェラン（日本研究）
准教授
曾根 洋明（異文化コミュニケーション、国際交流）

■地域連携センター
教授
鈴木 康夫（知的財産法）

■共通教育センター
教授
マーガレット・チャン（英語教育、グローバル教育）
弓谷 行宏（言語学、アメリカ研究、教育工学）
准教授
河西 敏幸（体育学、健康科学、教育工学）
小島 さつき（英文学）
マシュー・ウィルソン（英語教育、TOEIC）
山本 まゆみ（社会・文化人類学、史学、日本研究）

心身のスイッチを切り替え、学びに集中。

看護学部看護学科 2年 **野村 真夕**さん
〔宮城県古川高等学校出身〕



小学生の頃から看護師に憧れ、地域に根ざした看護師になりたいと思う一方、“国境なき医師団”や“災害医療派遣チームDMAT”のように、海外の医療現場で活躍できる看護師になることも目標にしています。

大学に入学して共通教育科目を選択する際に、「スポーツ実技」は絶対取ろうと思いました。高校時代から、勉強の合間のランニングでストレスを発散させるなど、私にとって運動は生活に欠かせない要素です。授業を通じ別学科の友達もでき、学生生活の楽しみもさらに広がりました。心と体のバランスが取れてこそ、講義内容も頭に入ると実感しています。

キャリア支援

一人ひとりの個性を磨き、人間力を高めるために
キャリア形成プログラム





学部の特性に沿った進路支援

看護学部

1年次からの「キャリアガイダンス」を通して、看護師や保健師の国家試験対策も含めたきめ細かな進路選択のバックアップを展開しています。

事業構想学部

「キャリア開発」の授業が必修になっています。授業や各種のセミナーを通して学生たちは、就職活動に必要とされる実践的な知識・技術を身につけます。

食産業学部

3年次の必修科目で企業活動の一部を実体験する「産業実習」、自分の適性にあった進路や職業のイメージを持ち、それに合わせたスキルを調整する「キャリア開発」を組み入れているほか、進路指導員が強力にサポートします。



キャリア開発センター

学生のキャリア形成のお手伝いをする「キャリア開発センター」は、各種情報を提供すると共に、就職ガイダンスや各種セミナー、個別面談などを通して、学生の個性と適性を生かしたライフプランに沿って職業の選択をサポートします。キャリア開発センターでは、学生一人ひとりとのコミュニケーションを大切に、専門の進路指導員が丁寧に相談に応じます。

首都圏での就職活動も強力サポート

東京都千代田区永田町にある宮城県東京事務所内に進路指導員が駐在し、学生の就職に関する相談と企業への広報活動などを行っています。首都圏において就職活動を行う学生を強力にサポートします。

キャリア開発カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
看護学部	4年生向けガイダンス 国家試験対策等	3年生向けガイダンス 職種別ガイダンス	看護師国家試験 対策模擬試験	病院説明会などへの参加			1年生向け ガイダンス	3年生向けガイダンス 養護教諭・公務員試験対策等
			医療機関 研究セミナー	保健師国家試験 対策模擬試験			看護師国家試験 対策模擬試験	保健師国家試験 対策模擬試験
								国家試験出願等 説明会
事業構想学部	必修科目 2年生対象「キャリア開発B」						必修科目 1年生対象「キャリア開発A」	
	必修科目 3年生対象「キャリア開発D」						必修科目 2年生対象「キャリア開発C」	
	全学年対象（個別）就職相談・面接・マナートレーニング・エントリーシートの書き方							
食産業学部	必修科目 3年生対象 キャリア開発Ⅰ						必修科目 3年生対象 キャリア開発Ⅱ	
	3年生対象 キャリアセミナー（1・2年希望者）自己分析・企業業界研究							
	4年生対象 キャリアセミナー就職活動フォロー							
	全学年対象（個別）就職相談・面接・マナートレーニング・エントリーシートの書き方							

「自分らしさ」を引き出してくれたアドバイス。

事業構想学部デザイン情報学科（平成26年3月卒業） **塩井 友樹さん**
〔栃木県立宇都宮商業高等学校出身〕



進路を考えるにあたり、自分のことを分かっているつもりでも、意外と理解できていないことがあります。進路相談員の方に“自分らしさ”について相談したところ、大学でどんなことをしてきたか、そのとき苦労したことは何か、それをどのように乗り越えたか、それぞれの答えがあなたの強みではありませんか?と助言をいただき、それが大きな自信につながったことは忘れられません。

就職支援活動セミナーでは、大手企業に内定した先輩だけでなく、挫折しながら就職活動を乗り越えた上級生による、「就職活動体験談」でリアルな話を聞くことができました。また、さまざまな業界の方の話も聞け、広い視野を持たせてくれました。

履歴書の作成においても、文章構成や表現方法にアドバイスをいただくと、伝えたいことは変えずに、伝わりやすさがグンと向上しました。

キャリア開発センターの第三者の視点からのアドバイスは、大変役に立ち、一人ひとりに時間を割いた親身な対応に感謝しています。

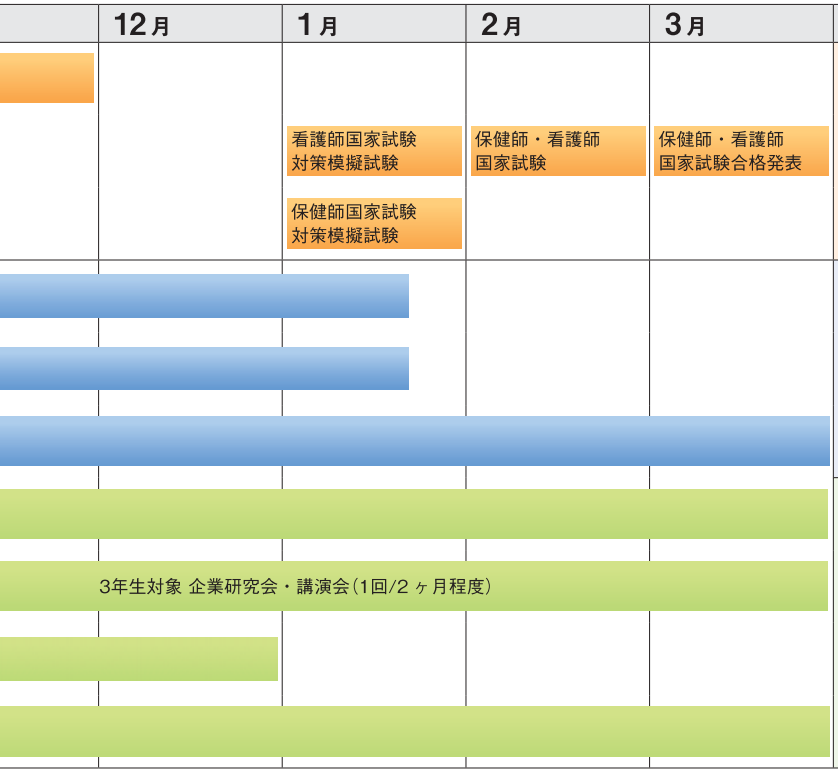
気が利く、おもてなしができる人間に。学生の個性を生かした選択をサポート。



キャリア開発センター
進路指導員
馬場 容子さん

当センターでは、就職などの進路に対してのさまざまな相談の対応や、採用情報などの提供、ガイダンスや各種セミナーの立案・開催などを行っています。

本学は比較的学生数が少ないため、きめ細やかな対応が可能です。一人ひとりとじっくり話し合いながら、履歴書やエントリーシートの添削、面接マナーなど、就職活動に関する実践的な指導のほか、卒業生の「採用試験報告書」から、採用試験や面接の内容など、ここでしか得られない詳細な情報が自由に閲覧できます。



キャリア形成ポイント

看護学部では、主に看護師や保健師の国家試験、養護教諭の採用試験に向けた講義や模擬試験が行われています。また、県内外の医療機関の人事担当者から卒業教育等の説明を受けることで、今後のキャリアに生かす「医療機関研究セミナー」を開催するなど、現実に即したプログラムが多数用意されています。

事業構想学部では、「キャリア開発」の授業で1年次から就職活動の準備に入ります。2年次までに「業界紹介」「経済・社会の常識」「SPI攻略方法」などを学び、3年次になると本格的な就職活動を目の前にして「エントリーシートの対策」や「面接対策」など実践的な準備を行います。進路指導員による個別指導も常時行っています。

食産業学部では、1、2年次に「キャリアセミナー」を開催し、3年次には「キャリア開発Ⅰ」でインターンシップ、「キャリア開発Ⅱ」で面接トレーニングやビジネスマナー講座、企業から講師を招いての講義などを行っているほか、進路指導員による個別指導も常時行っています。

インターンシップとは?

＜事業構想学部＞
外部の企業・機関が提供する就業体験に5日間以上挑戦するもので、大学の講義等では得難い企業・組織と社会との関係、社会的役割等を学び、また、将来の進路選択に資する経験・見識を積むことを目的とします。（※関連科目：インターンシップⅡなど）

＜食産業学部＞
教員の助言を得ながら、興味と適性をもつ会社等を選択し、その産業基盤についての研究を行いつつ実施する産業実習。自分の進路を視野に入れ、実社会の全体像を把握し、自分に適した職業や職場を選択することを目的とします。（※関連科目：キャリア開発Ⅰなど）

グローバル人材育成

実践的なグローバル能力を身につけるために

可能性は無限 世界に広がる学びのフィールド

グローバル時代に対応できる人材育成・大学づくりのため様々な活動を行っています。

海外大学との交流協定



これらの協定締結校への学生・教員の派遣・留学や、相手先との共同シンポジウム・共同ワークショップなど、学生・教員の国際交流を行っています。

平成25年度実績

■長期留学（半年―1年）

タンペレ応用科学大学（フィンランド）：3名

アーカンソー大学フォートスミス校（米国）：2名

■短期留学

タンペレ応用科学大学（フィンランド）：6名

宮城大学とテンプル大学ジャパンキャンパスが「教育・学術上の連携に関する基本協定」を締結しました。

米国フィラデルフィアに本校を置くテンプル大学ジャパンキャンパス（TUJ）と宮城大学は、教育・学術上の連携に関する基本協定を締結しました。協定書の調印式は平成25年12月15日、宮城大学で行われました。



【協力分野】

・教職員の交流　・学生の交流　・共同研究

・連携協力事業のための外部資金の確保

・その他、共同企画による教育　・文化事業

海外で働くための、第一歩としての留学。

事業構想学部事業計画学科 4年 **富永 亮**さん
〔宮城県泉館山高等学校出身〕



将来は海外で働きたいと思い、初めての渡航が約10カ月の海外留学となりました。異文化の中でさまざまな体験ができたことは、これから仕事をしていく上で、大きな土台になると感じています。

留学での一番の収穫は、ヨーロッパに多くの友人ができたことです。そして日本のよさと、そうでない点を実感することができました。フィンランドは1家に1つサウナがある国で、私もサウナが大好きになってしまいました。今後は海外に展開している企業に就職して、世界を舞台に働き、その先は地元宮城のために、何かできたらいいなと考えています。

経験は将来の財産に。研修プログラム「リアル・アジア」

アジアをフィールドとした研修プログラム「リアル・アジア」を実施しています。グローバル能力（異文化理解力・コミュニケーション能力・タフさなど）を高め、自らの新しい可能性を掘り起こし、これからの勉強や就職に向けた目標と自信を獲得してもらうための取り組みです。

ベトナム研修プログラム
［平成24年度から実施］

現地の人々（協定校学生や現地山岳小数民族など）と交流し、英語やベトナム語を実践するとともに、ベトナム企業やベトナムで活躍する日系企業、国際NGO等の訪問のほか、マーケット等におけるフィールドスタディに取り組みました。



平成24年12月から平成26年3月までの間で、延べ51名の学生が参加しています。

グローバル・インターンシップ
［平成25年3月実施］

より実践的なグローバル素養（適応力・行動力・国際感覚・メンタルタフネス）を修得することを目的に、約3週間にわたり、ベトナムで活躍する現地日系企業で、日本とアジアをつなぐ仕事の意義と実際を学びました。



ハノイにある日系企業でのインターンシップ。学生ではなく一社員として受け入れていただきました。



ホーチミンにある日系企業でのインターンシップ。日本に輸出されるエビの検品作業などを経験しました。

「リアル・アジア」で強くなれた。世界で通用するためのチャレンジ。

事業構想学部事業計画学科 4年 **菊地 友**さん
〔宮城県向山高等学校出身〕

私は発展途上国などに興味があったので、ベトナムでの2週間の研修と、海外展開する企業に3週間インターンシップができる、このプログラムに参加しました。痛感したのは、グローバルな人材になるには、世界を自分の目と耳で知ることが重要ということです。異文化への順応は、事前の知識や語学力だけでは対応できません。自分を見失わない精神的な強さが必要だと実感できました。



国際交流・留学生センター

グローバル時代に対応できる人材育成・大学づくりのため、国際交流の推進／外国人留学生へのサポート／外国語教育支援／海外留学等に関する情報の提供・留学相談など、さまざまな活動を行っています。

■国際交流・留学生センター
http://goglobalmyu.com/



eビジネスを勉強し、アジアで活躍したい。

事業構想学部事業計画学科 4年 **迎 春（ゲイ シュン）**さん
〔中国内モンゴル出身〕

私はインターネットなどのITを活用するeビジネスを学んでおり、将来はアジアで活躍できる人材になりたいと考えています。宮城大学では幅広い分野にわたる勉強ができ、3年次からのゼミや職業体験ができるインターンシッププログラムも魅力で、留学先に選びました。仙台国際センターで留学生交流委員を務め、留学生の後輩たちに日本のことを教えたり、日本人に外国の文化を伝える活動をしました。卒業後は、日本のIT企業に入社するのが目標です。将来は、学んだ技術を自国に提供したり、日本企業の中国への事業展開をサポートするような仕事もしたいと思っています。



地域連携

開かれた連携拠点としての取り組み

宮城大学からつながる・広がる“ひと・まち・夢”の翼が将来の糧に。

産学官民の交流連携の拠点として、地域が抱える課題などをともに考え、解決していくためのさまざまな活動に取り組んでいます。

他大学との連携

兵庫県立大学（兵庫）

COMMUNITY PLANNER PROGRAM

兵庫県立大学とともに、フィールドワークを軸として、地域課題の解決に貢献できる人材（コミュニティ・プランナー）を育成する教育プログラムに取り組んでいます。兵庫と宮城の異なるふたつの地点で取り組むことで、地域の文化や歴史、資源など、異なる視点から各々の地域を捉えることの重要性を知ることができます。また、行政や企業、NPOなど、様々な職業の方々とともに、最前線で活動に取り組むことで、聞く力や見る力、表現する力を習得するとともに、学生時代に多くのひとと出会い、様々な経験を積むことができます。



兵庫県立大学の学生とともに、復興土地区画整理事業でできた街を見学。



大崎市と地元の高校生とともにまちづくりについて考える機会を作りました。



兵庫県淡路市にて、廃校を地域資源として活用している事例を体験。



兵庫県立大学の学生と地域づくりを考えるワークショップを行いました。

自治体との連携

宮城の「知の拠点」をめざし、地域課題解決に貢献します。

- 宮城県
- 仙台市泉区
- 気仙沼市
- 白石市
- 大崎市
- 蔵王町
- 加美町
- 美里町
- 南三陸町

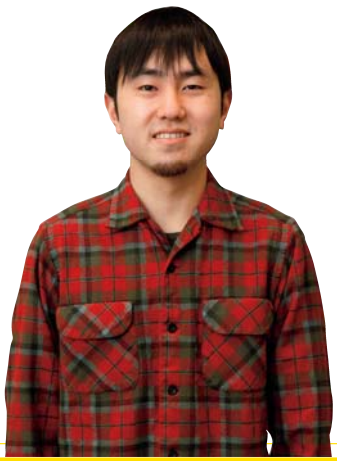


宮城と兵庫の被災地から学び、復興のまちづくりのために連携したい。

食産業学部ファームビジネス学科 4年 **守屋 友裕さん**
〔宮城県石巻西高等学校出身〕

兵庫県立大学との共同プロジェクト、“コミュニティ・プランナー育成プログラム”の一員として、宮城大学太白キャンパスでの「花と緑のまちづくり講座」に参加しました。東日本大震災の被災者の方々と協力して花壇の設計・測量などを行い、両校の交流も深めることができた、意義深いものとなりました。

神戸を訪れた際には、阪神淡路大震災の被災地や神戸の街を見て回りながら、コミュニティやまちづくりについて学ぶことができました。特に復興するまでの道のりや周辺地域の取り組みを見ることができ、そのノウハウを学んだり、環境や状況の違いをあらためて認識することができた、貴重な体験となりました。



私は石巻市出身で、宮城の食産業の振興を通じて、被災地の復興やまちづくりに貢献していくのが目標です。ともに大きな震災の被災地にある兵庫県立大学との共同プロジェクトと、学生同士の交流を大切にしながら、この連携による学びをこれからの進路に生かしていきたいと考えています。

学都仙台コンソーシアム

「知が連携する学都仙台」をめざして、大学などの高等教育機関や行政機関等28の機関が「学都仙台コンソーシアム」として互恵的な関係を結んでいます。

〈主な取り組み〉

■単位互換ネットワーク

学生は学都仙台コンソーシアムに加盟する他大学、短期大学、高等専門学校の科目（一部）を履修することができます。

■復興大学

文部科学省の支援を受けて『復興大学』として、「復興人材育成教育コース」「教育復興支援」「地域復興支援ワンストップサービス」「災害ボランティアステーション」の4つの事業を行っています。

特に「復興人材育成コース」では、受講することで単位を取得することもできる6つの科目が開講されています。

開講科目：「復興の政治学」、「復興の経済学」、「復興の社会学」、「復興の思想」、「復興のための生活構築学」、「復興の科学技術」

その他、仙台市内の町内会等のイベントに加盟大学のサークル団体を派遣する活動などを行っています。

企業との連携

株式会社ホットランド

たこ焼きチェーン「築地銀だこ」を展開する同社と、新商品の開発や、成功すれば世界初となるマダコの完全養殖の実現を目指しています。

宮城蔵王観光株式会社

スキー場の健康福祉面などでの活用に取り組む協定を結び，宮城蔵王で実施している新入生交流会にも支援をいただいています。

その他公的機関、団体との連携

- 国土交通省東北地方整備局 国営みちのく杜の湖畔公園事務所
- 宮城県教育委員会
- 一般財団法人公園財団
- 総合地球環境学研究所（京都）
- 農林漁業金融公庫　仙台支店
- 兵庫県立淡路景観園芸学校
- 宮城県中小企業団体中央会

CAMPUS MAP | キャンパスマップ

大和 TAIWA CAMPUS





本部棟
大学の機能の中心となる建物です。円形の外観と大きな階段を内部に持つ印象的な構造が特徴です。3階が看護学部、4階が事業構想学部のフロアです。



学生ラウンジ
3階と4階に設けられているスペースです。休憩スペースとして利用できるほか、無線LANも整備されているので自習スペースとしても活用できます。



講堂
座席数776名のホール。学内の式典や公開講座のほか、コンサートや文化系サークルの練習・発表の場として利用されています。



グラウンド
サッカーや野球ができるグラウンドの他に、テニスコートを備え、サークルの主な活動の場となっています。学生のみならず、地域の方へも貸出しています。



ナーシング・ラボ
看護学部の技術演習で使用される施設です。実際の病室や自宅を想定した設備が用意されており、実用的な看護技術を習得することができます。



コンピュータ・ラボ
コンピュータを備えた演習室です。授業時間以外でも自由に利用することができ、パソコンにはさまざまなソフトウェアが入っています。



図書館
本部棟2階にあり、蔵書数は約115,000冊になります。各学科での学習に必要な書籍、雑誌や新聞があります。映像音響資料の閲覧室もあり、夜間も利用できます。

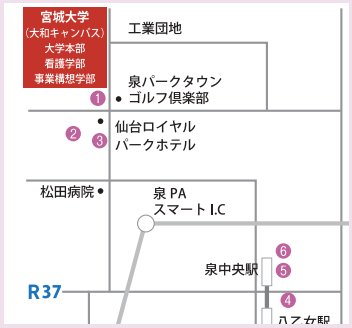


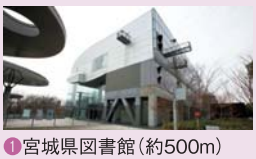
3F 国際交流・留学生センター
国際交流の推進や留学生へのサポート、外国語教育支援、留学相談などを行っています。



カフェテリア
1階席のほかに、屋外のテラスや2階席をふくめ260席あります。昼休みには、出来たての食事を手頃な値段で食べることができます。

大和キャンパス周辺施設




❶宮城県図書館（約500m）



❷タピオ（約1km）



❸仙台泉プレミアム・アウトレット（約1km）


❹仙台市泉図書館（約6km）



❺セルバ（約6km）


❻アリオ（約6km）

太白 TAIHAKU CAMPUS



食品加工棟
食材加工を実践する施設。
主な食品加工品の製造機器類がそろっており、食味試験室や調理室もあります。実習・演習のほか、サークル活動にも使用されています。





講義棟
視聴覚機材を備えた講義室をはじめ、製図室、パソコンを完備したCAD室やコンピュータ・ラボがあります。



図書館
南研究棟1―2階にあり、座席数は92席。蔵書は約64,000冊で、学部に関わる専門的な書籍が収められています。映像資料を視聴することもできます。



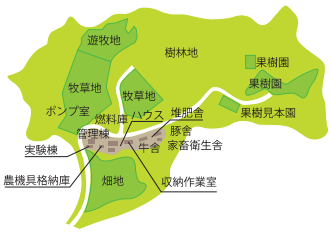
カフェテリア
客席数は240席。一部が2階になっていて、明るくゆったりとしたスペースが特徴です。ゆっくりと昼食を食べたり、休憩することができます。



ガラス温室
プールベンチとイチゴ高設養液栽培システムを装備し、複合環境制御をLAN経由で行う機能を備えた温室です。

坪沼農場 TSUBONUMA FARM
[食産業学部 附属農場]

太白キャンパスから8kmほど離れた太白区坪沼に約31.4haの附属農場があります。豊かな自然に囲まれ、実習に最適なロケーションです。





農場の牛
乳牛・肉牛が飼育されています。搾乳や人工授精など、多くの実習を行っています。

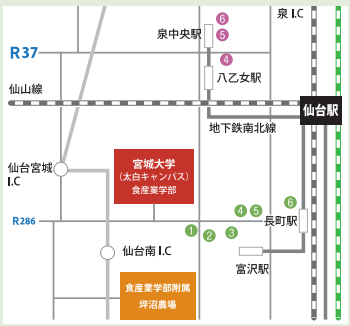


水田
水田は附属農場から少し離れた場所にあり、主に「ひとめぼれ」を栽培しています。



畑地・果樹園
四季折々の野菜・果物が栽培され、大学生協で販売されています。

太白キャンパス周辺施設




❶イオンスーパーセンター鈎取店(約2km)


❷ヨークベニマル山田鈎取店(約2km)


❸三神峯公園(約4km)


❹三井ショッピングパーク ララガーデン(約5km)


❺ザ・モール仙台長町店(約5.5km)


❻仙台市太白図書館(約6.5km)

CAMPUS CALENDAR | キャンパスカレンダー







4月 April
- 入学式
- オリエンテーション
- 在学生ガイダンス
- 健康診断
- 前期授業開始

5月 May
- 開学記念日
- 新入生交流会

6月 June

7月 July
- オープンキャンパス
- 前期試験

8月 August
- 夏期休業

9月 September

10月 October
- 後期授業開始
- オープンキャンパス
- 大学祭

11月 November

12月 December
- 冬期休業

1月 January

2月 February
- 後期試験
- 春期休業

3月 March
- 卒業式



新入生交流会

充実した学生生活を送れるよう、大学生活を共にする新入生同士、先輩、教職員と良好な関係を築くとともに、普段は大和と太白のキャンパスに別れている宮城大生の一体感を養うことを目的に、1泊2日の新入生交流会を行います。この新入生交流会は、新入生全員と3学部の教員が参加し、在学生がサポートします。

注目すべき企画はビブリオバトル

新入生はそれぞれ「読んで面白いと思った本」を持ち寄り、学部混合のグループの中で紹介します。「どの本が一番読みたくなったか?」と、活発なディスカッションが行われます。

ビブリオバトルとは?

「ビブリオ」は書物などを意味するラテン語由来の言葉で、「ビブリオバトル」とは、立命館大学情報理工学部の谷口忠大准教授が考案した、ゲーム感覚を取り入れた新しいスタイルの「書評合戦」です。

ビブリオバトラー（発表者）たちが、おすすめ本を持ち合い、1人5分の持ち時間で書評した後、バトラーと観客が一番読みたくなった本、「チャンプ本」を決定します。（ビブリオバトル2013より）

宮城大学では、読書習慣や人間力を養うために、学生へ推奨しています。









オープンキャンパス

特に7月に行われるオープンキャンパスは、模擬講義や施設開放の他、学生による企画、教員による入試Q&Aコーナーなど、内容が盛りだくさん。パンフレットやウェブサイトだけでは分からない宮城大学の魅力をぜひ発見してください。





大学祭

宮城大学の大学祭は2日間にわたって開催され、著名人による講演や特設ステージで行われるライブ・パフォーマンスなど毎年大盛況です。ミニオープンキャンパスも同時開催され、多くの高校生の皆さんにもご来場いただいているので、ぜひお気軽に遊びに来てください。





大和 TAIWA CAMPUS

看護学部と事業構想学部がある大和キャンパスでは、
地域社会と結び付いたユニークな活動などもあります。

ART STANDARD.



ART STANDARD.は、「アート・デザインで人々をつなぎ、心豊かな生活を生む」をコンセプトに活動するサークルです。ワークショップやイベントの企画・運営、フリーペーパーの制作などを中心に幅広く活動しています。フリーペーパーは取材やデザイン、編集まで私たち自身で行っています。

軽音楽サークル



軽音楽サークルは音楽好きが集まるサークルです。音楽が好きなら楽器ができなくても大歓迎。楽器よりもPAや照明に興味がある、という人もOK!自主的にライブを企画して学内で披露したり、大学祭のステージで演奏をしたりしています。他サークルと共同で「Baggy Night」という音楽イベントを年2回開催。野外に特設ステージを設営してライブも行っています。

娘すずめ。



仙台の伝統芸能すずめ踊りサークル「娘すずめ。」は、結成当初女性が多かったことから名付けられました。現在では男性メンバーも増え、皆で楽しく活動しています。仮設住宅に住む方々に披露し、各地のお祭りに呼ばれ、宮城県外に行くことも。娘すずめ。の一番の魅力は一人では味わえない達成感。全員で一つの舞台を作り上げ、最後にいただく拍手は格別です。

学生会
執行部
新入生歓迎会実行委員会
大学祭実行委員会
出版委員会
ガーデンキャンパス
サークル連絡会

サークル
硬式野球部
サッカーサークル
女子バスケットボールサークル
男子バスケットボール部
バドミントンサークル
硬式テニスサークル
T.T.T. ソフトテニスサークル
バレーボールサークル
ジョギングサークル Running High
大和野球倶楽部
弓道サークル
軽音楽サークル
娘すずめ。
Rhythm Square
宮城大学サークルVKC
光画部
映画部
宮城大学管弦楽団
宮城大ウインドアンサンブル
ART STANDARD.
演劇サークル Arco iris
服飾研究会
アカペラサークルLEGO
ぺんたぶ!!
卓ゲー研究会
ZOZ団
二輪サークル
宮城大学まちづくり研究室

同好会
スマイルきのこ隊
卓球同好会
MYUポケモンだいすきクラブ
留学生会
Petit Ange
ハンドボール同好会

学生団体
キャンパスレンジャー［CR］
宮城大学学生広報部
One Second Project［OSP］
Table for Two Miyagi University

太白 TAIHAKU CAMPUS

食産業学部がある太白キャンパスでは、
他の大学にはない食に関わる面白い活動などもあります。

バドミントンサークル



「週に二回, 学校の体育館で活動しています。初心者, 経験者問わず大歓迎です。学年・学科関係なく仲良くなれます。青春はバド部から☆

ヤギ研



ヤギ研では、大学構内で飼っているヤギのお世話をしています。授業の合間や放課後に、餌やりや水替え、掃除などを行い、ただかわいがるだけではなく、しっかりと命を預かる責任を持って活動しています。

醸造研究サークル



醸造研究サークルでは発酵食品を自分達で取り扱っており、米と麹と水から甘酒を手作りし、大学祭や地域のイベントで無料配布する活動などを行っています。砂糖や保存料を使わないノンアルコールの甘酒は大好評。今は甘酒ベースで宮城のご当地食材を使用したフレーバーのアイスクリームを試行錯誤しながら開発中です。

学生会
執行部
ガーデンキャンパス
大学祭実行委員会
卒業アルバム兼謝恩会実行委員

サークル
Interfere
山岳部
軟式野球サークル
バドミントンサークル
陸上サークル
醸造研究サークル
味覚研究会
大地くん
WINTER AGAIN
お茶娘倶楽部
鍋部
合唱サークル
軽音楽サークル
JAZZ&ROCK
デザート・ラボラトリー
免許の達人サークル
STREET DANCE
自然研究サークル
チーム・スマイル メーカーズ
音楽祭実行委員会
FC. Powerhouse
劇団おにぎり
BOSTON CLUB
企業研究サークル
宮城食の応援団

同好会
シマネ同好会
ダックス会
Dream
MBF
アニメ・漫画研究同好会
LINK
55Bisco（ごーごーびすこ）
ヤギ研
ダブルダッチ

大和キャンパス 実家暮らしの場合



事業構想学部事業計画学科 3年
佐藤 隆介さん
〔宮城県富谷高等学校出身〕

昼食は手づくり弁当持参。家族との時間があり、自室では映画鑑賞を楽しむ。

実家から通学していますが、何よりありがたいのは体調を崩したり、けがをしたときに、すぐ家族に頼ることができるところです。学生団体の活動やアルバイトなどで体力を使い、疲れて帰宅する時もありますが、そんなときでも、栄養バランスを考えた食事ができることに、本当に感謝しています。

もちろん一人暮らしをしてみたいという気持ちもあります。友だちを呼んで、楽しく遊んだりすることもしたいのですが、一人で何か起きたときのことを考えると、実家の安心感は大きいものがあります。



講義



学生広報部で活動しています

大和キャンパス 一人暮らしの場合



看護学部看護学科 3年
小島 彩花さん
〔福島県立郡山東高等学校出身〕

気楽なマイペースがうれしい。自分のことは自分でやる、責任感もついてきます。

大学で講義を受ける以外は、ほとんど自分の時間となります。自由に使える時間が多くなるため、やりたいことを自分のペースでできる点が、一人暮らしの最大のメリットです。“すずめ踊り”のサークル活動では、仙台青葉まつりなどのイベントが近づくと練習時間が長くなりますが、時間をやりくりし、練習に集中することができます。自炊のため早起きをするという大変なこともありますが、生活に対する責任感が身につきます。親のありがたみが分かることも、メリットかもしれません。



講義



私の大切な友人たち

太白キャンパス 一人暮らしの場合



食産業学部ファームビジネス学科 2年
谷口 智紀さん
〔大阪府 浪速高等学校出身〕

家計のやりくりも、学びの一つ。友だちと泊り込みで勉強したり、遊んだりする自由さがいい。

大学では勉強とサークルに没頭して、自宅では思い切りリラックスすることを心がけています。料理が好きなので、オリジナルの料理を開発したりするとストレス解消になりますね。友だちと鍋もしますが、テスト前には泊り込みの勉強会もします。休日は、近くのショッピングモールの書店やCDショップ、映画館などに行ったりします。散歩も趣味で、仙台駅まで歩いて一時間もかからないので、のんびり出かけることもあります。一人で生活を切り盛りすると金銭感覚が身につき、いい社会勉強になりますよ。



週に2回は図書館に通っています



バスで通学、時々徒歩

私の一日の過ごし方

平日		休日
	6:00	
起床・身支度	7:00	
登校	8:00	起床・身支度
	8:45	朝食
講義	10:00	自室の掃除
	11:00	
昼食（弁当）	12:00	昼食
講義	12:50	外出or読書
	14:00	
学生団体活動	15:00	
	16:00	
	17:00	
	18:00	趣味
	19:30	夕食
	20:00	勉強（英語）
帰宅・夕食	21:00	
課題or趣味	22:00	入浴
入浴	23:00	就寝
就寝	24:00	



外出する時は必ずカメラを携帯



趣味はネットサーフィン

私の1ヵ月家計簿「実家暮らし生活」

収入	
仕送り	0円
バイト代	40,000円
奨学金	0円
合計	40,000円

支出	
家賃	0円
光熱費	0円
食費	5,000円
交際費	10,000円
その他	25,000円
合計	40,000円

私の一日の過ごし方

平日		休日
	6:00	
起床・身支度	7:00	起床・身支度
朝食	8:00	朝食
自宅出発（原付）	9:00	自宅出発（原付）
講義	10:00	サークル活動
	11:00	
アルバイト（カフェテリアにて）	12:00	昼食
	13:00	
昼休み・課題	14:00	
	15:00	自宅へ・趣味
講義	16:00	
	17:00	
夕食・サークル活動	18:00	夕食
	19:00	
買い物	20:00	入浴
帰宅・入浴	21:00	趣味
趣味	22:00	就寝
就寝	23:00	
	24:00	



サークル「娘すずめ。」ですずめ踊りの演舞中!



お気に入りのバイクです

私の1ヵ月家計簿「一人暮らし生活」

収入	
仕送り	100,000円
バイト代	20,000円
合計	120,000円

支出	
家賃	42,000円
光熱費	6,500円
水道代	2,500円
食費	20,000円
交通費	2,000円
交際費	20,000円
貯蓄	27,000円
合計	120,000円

私の一日の過ごし方

平日		休日
	6:00	
起床・朝食・身支度	7:00	
登校（バス）	8:00	起床・朝食
講義準備・開始	8:45	部屋の片づけ
	10:00	
講義	11:00	近所で食材の買い出し
昼食（カフェテリア）	12:00	昼食（自宅or外出先のご飯屋）
講義	12:50	昼寝
	14:00	
図書館で読書	15:00	本屋巡り
	16:00	美味しいご飯屋探し
サークル	17:00	帰宅
下校（バスか徒歩）	18:00	夕食の支度
帰宅・夕食の支度	19:30	夕食・入浴
夕食	20:00	
自由	21:00	
	22:00	
風呂・明日の支度・就寝	23:00	就寝



買い物は息ぬきのひとつ



ちゃんと自炊しています

私の1ヵ月家計簿「一人暮らし生活」

収入	
仕送り	50,000円
奨学金	80,000円
合計	130,000円

支出	
家賃	53,600円
光熱費	5,500円
水道代	3,500円
食費	20,000円
交際費	10,000円
その他	18,400円
貯蓄	19,000円
合計	130,000円

さらに専門的な学びを深めるための進路選択

宮城大学大学院

Miyagi University
Graduate School







看護学研究科

卓越した看護の知識と実践力をそなえ、
教育的、指導的役割を担う高度に専門的な看護職を養成する専門課程

看護学研究科の目的

地域の保健医療において必要とされる高度かつ専門的な看護について、教育・研究と社会活動を行うことを目的としています。

看護学研究科の教育目標（人材養成目標）

■博士前期課程

地域現場の課題に対応できる知識・技術及び研究能力をもち、高度な実践能力を備える専門的な看護職を養成します。

■博士後期課程

高度に専門的な知識と実践力ならびに自立的な研究能力を持つ高度看護実践指導者又は看護教育研究者を養成します。

修了後の職種

●専門領域で高度な実践能力を持つ看護職
●高度な管理能力及び指導能力を持つ看護職
●看護基礎教育や卒後教育に携わる看護学教育者・研究者

教育方法の特徴

■博士前期課程

①看護現場の実践的課題に応じる理論・方策・技術等の開発を行います。
②現任看護職と学部進学者との相互作用効果を生み出す教育を行います。
③専門分野を基軸とした責任ある複数指導体制により研究指導を行います。
④関係資格（専門看護師）の取得を支援します。

■博士後期課程

①看護の対象となる人々のライフステージや健康レベル、健康障害の種類・程度、生活の状況、生活拠点等の特性を包括的・横断的な視点でとらえ、統合的・縦断的な視点から生涯にわたる人々の健康と生活の質の向上を目指した看護支援方法の開発・研究を行います。
②専門分野を基軸とした責任ある個別指導体制、小集団指導体制、大集団指導体制により研究指導を行います。

研究科の構成

看護基礎教育

博士前期課程
修士（看護学）定員 10 名

基盤看護学分野
すべての看護学分野の基盤として位置づく看護学分野です。
●基礎看護学領域　●感染看護学領域　●看護管理学領域

成熟期看護学分野
心身の健康問題をもつ成熟期の人々とその家族の健康を支援する看護学分野です。
●成人健康看護学領域　●がん看護学領域　●精神健康看護学領域　●老年健康看護学領域

次世代育成看護学分野
次世代を担う人々やその育成に関わる人々の健康を支援する看護学分野です。
●母性健康看護学領域　●小児健康看護学領域

広域看護学分野
地域生活を基盤に、個人・家族・集団および療養者の健康を支援する看護学分野です。
●地域健康看護学領域　●在宅健康看護学領域　●災害看護学領域

博士後期課程
博士（看護学）定員 3 名

生涯健康支援看護学
博士後期課程は、生涯健康支援看護学分野 1 つで構成しています。人の生涯にわたる健康支援という総体的視点に立ち、各看護専門領域を統合・包括した看護支援方法について教育研究を行う看護学分野です。

実学を基盤とした教育・実践・研究活動をとおして、保健医療福祉に貢献する高度専門職業人を養成することを目標として、「研究能力養成コース」「専門看護師養成コース」の 2 コースを設置しました。

①研究能力養成コース（全領域に設置）
保健医療福祉の現場における看護の質の向上のために、利用者中心の看護の視点からの研究活動を通じて、看護学が扱う現象を科学的に追究できる研究能力を養成します。

②専門看護師養成コース（感染看護学領域 / 老年健康看護学領域 / がん看護学領域）
保健医療福祉の現場における課題を科学的思考及び研究的視点で多角的に分析でき，課題に実効的に取り組むために必要な高度な実践力を備えた専門看護師を養成します。なお、感染看護学領域については、修了生が平成 24 年度に専門看護師として認定試験に合格しました。

社会人への配慮・教育状況等

入学者のおよそ9割が社会人学生であり、徐々にその割合も増加していることから、平成 21 年度より、学則において長期履修制度や教育方法の特例を新たに規定するなど、修学環境整備に力を入れています。

■長期履修制度

職業を有し、かつ就業している方で、標準修業年限で修了することが困難である場合や、育児、介護等により標準修業年限で修了することが困難である場合等には、申請後、審査を経て、長期履修の制度を活用することができます。

■教育方法の特例

学生の職務状況に合わせて夜間や土曜日・日曜日、長期休業期間の開講や、必要に応じてコンピュータネットワークを利用した指導を行います。

事業構想学研究科

高度なプロデュース能力と
起業家精神にあふれた人材を育成する専門課程

事業構想学研究科の目的

地域社会における事業構想の高度かつ専門的な知識・技術・政策課題について、教育・研究と社会活動を行います。

事業構想学研究科の教育目標（人材養成目標）

ビジネスマネジメント・ビジネスプランニング及び空間デザイン・情報デザインの専門家としての高度職業人を養成します。

教育方法の特徴

①学卒者と社会人の両方を対象に高度な専門職の教育を行います。
②全領域で地域現場と密着した実践教育を行います。
③研究者志望の方には特に研究能力の養成を重視します。
④関係資格（公認会計士、税理士、一級建築士、ソフトウェア開発技術者など）の取得を支援します。

修了後の職種

●企業・行政機関の企画開発職　●都市プランナー
●建築設計職　●非営利組織のプログラム・オフィサー
●高度システム・エンジニア　●起業家など

研究科の構成

ビジネス・ITデザインの知識

博士前期課程
修士（事業構想学）定員 20 名

ビジネスマネジメント領域

商業・流通を中心とするサービス産業分野で、具体的な事業プロジェクトを推進する高度職業人（ビジネスプロフェッショナル）を育成します。ビジネスにおける着想・構想に止まらず、計画・実施にまで手腕を発揮する人材育成を目指し、具体的なビジネスプランを策定できるような指導を行います。

ビジネスプランニング領域

事業構想学研究科の目的の１つは、事業創造を通じての地域振興です。この領域は、特に暮らしや地場産業、地域計画や開発、福祉などの社会事業、ホスピタリティ産業や観光事業などに関わる教育研究、具体的なプランの策定指導を行います。

空間デザイン領域

空間デザインには、単に目に映る形だけではなく、形を作り上げるための構想・計画・手法・施策が必要です。また、人間の社会的・経済的活動や、背景にある歴史的・文化的枠組みまでを掘り下げて研究することを通して、次の時代の新たな事業を草創し、プロデュースできる人材育成を目指します。

情報デザイン領域

情報システムの構築は、企業をはじめ、国や地方公共団体、学術機関などにおける重要な課題の１つです。その構築には、インフラ設計はもちろん、システムの中身やユーザビリティ、システム利用環境の快適性が重要です。この領域では、これらの専門知識と技術を備え、採算や運営までをトータルに捉えることのできる人材を育成します。

博士後期課程
博士（事業構想学）定員 3 名

産業・事業システム領域

産業・事業システム領域の研究指導体制は、商業並びに観光事業などに関する経営と法に加え、情報システム工学や施設構築に関わる研究を加味した構成となっており、産業・事業システムを新たに考究する多面的な指導体制を用意しています。

地域・社会システム領域

地域・社会システム領域の研究指導体制は、地域の総合的な計画から各種の事業に加え、地域空間と情報システムに関わる内容を加えた構成となっており、地域社会の様々な課題に応えうる総合的な体制を整えています。

社会人への配慮・教育状況等

事業構想学研究科では、学卒者だけでなく社会人の方を対象にした高度な専門職の教育を行っていますので、社会人在学生の割合が高いことが特徴です。
そのため、社会人の方への配慮として、右記のような制度が用意されています。

■社会人特別選抜

博士前期課程の入学試験では、企業、官公庁、教育機関及びその他各種団体などに２年以上の在職経験または活動経験を有する入学希望者を対象とした社会人特別選抜を行っており、専門科目の筆記試験と面接のみの受験となります。

■長期履修制度

入学後、仕事の都合などで、標準修業年限（博士前期課程２年、博士後期課程３年）で修了することが困難であると認められる場合、前期課程では３年もしくは４年、後期課程では４年もしくは５年まで修業年限を延長することができます（入学時に申請）。なお、授業料は、前期課程２年分、後期課程３年分を実際の修業年数で分割することになります。

食産業学研究科

食材生産から、食品加工流通、そして農と食の環境問題まで、
日本の食産業を担う高度な技術者・研究者を養成する専門課程

食産業学研究科の目的

食材生産から食品の加工・流通・外食に至る食産業、およびそれらの産業に係わる環境の維持管理について、教育・研究と社会活動を行うことを目的としています。

食産業学研究科の教育目標（人材養成目標）

博士前期課程では、食産業学の分野で優れた研究能力・開発能力を有した研究者および高度な専門的知識や能力を持った高度専門職業人を養成することを目標としています。
博士後期課程では、食産業学分野における自立的な研究者、農商工連携や産業クラスター形成をリードできる人材、高度な学識・知見・研究法を基に実業界をリードしていける人材を養成することを目標としています。

修了後の職種

博士前期課程：●公立の試験研究機関や企業の研究所の研究者
●公務員　●民間企業の開発部門の社員など
博士後期課程：●大学や公立の試験研究機関や企業の研究所の研究者　●シンクタンクの研究員　●公務員
●食産業の企業経営者など

教育方法の特徴

■博士前期課程

①食産業学の各専門分野について、基礎理論と実践的な課題解決を志向した講義や演習等の科目を配置し、ケースメソッド等の実践性を養う教育方法も採用しています。
②入学直後に全員が必修で学ぶ「食産業学研究特論」等により、食産業や食産業学の全体像を把握できるようなカリキュラムを組んでいます。
③「プロジェクト研究」の成果を以て修士論文に代えることができるなど、現場の課題重視の教育体制を取っています。

■博士後期課程

①主指導教員・副指導教員による個別指導と、後期課程を担当する全教員による全体指導体制を組み合わせて指導します。
②個別指導としては、入学直後より主および副指導教員が、研究テーマに即した指導を行います。
③全体指導としては、年度ごとに博士論文の中間報告会を行い、食産業学の多岐にわたる専門分野の教員から指導を受けます。

研究科の構成

博士前期課程　修士（食産業学）定員 13 名

食品イノベーション領域	
食品ビジネスマネジメント分野	食産業が直面している問題を、技術とビジネスの両面から探求し、解決することができるような人材を養成します。
食品技術開発分野	食品科学の新知見を活用し、食品の機能性や高齢者向けの食品開発など、食品の高付加価値化について科学・技術の面から解決できるような人材を養成します。

農・環境イノベーション領域	
ファームマネジメント分野	食材生産に係わるバイオ技術の開発・普及、あるいは地域農業振興の方策などを研究し、地域の農業振興を指導できる人材を養成します。
環境マネジメント分野	農業や食品産業、あるいは農漁村で起こっている環境問題やエネルギー問題を解決することができるような人材を養成します。

博士後期課程　博士（食産業学）定員 3 名

食品研究領域	
食品ビジネスマネジメント分野	食産業が直面している問題を、技術とビジネスの両面から探求し、解決することができるような人材を養成します。
食品技術開発分野	食品科学の新知見を活用し、食品の機能性や高齢者向けの食品開発など、食品の高付加価値化について科学・技術の面から解決できるような人材を養成します。

農・環境研究領域	
ファームマネジメント分野	食材生産に係わるバイオ技術の開発・普及、あるいは地域農業振興の方策などを研究し、地域の農業振興を指導できる人材を養成します。
環境マネジメント分野	農業や食品産業、あるいは農漁村で起こっている環境問題やエネルギー問題を解決することができるような人材を養成します。

食産業学研究科は、**博士前期課程**及び**博士後期課程**とも、それぞれ**食産業学専攻**により構成されています。博士前期課程は、食品イノベーション領域と農・環境イノベーション領域から構成されます。博士後期課程は、食品研究領域と農・環境研究領域から構成されます。

社会人への配慮・教育状況等

食産業学研究科は学びへの意欲が旺盛な社会人の皆様の進学を歓迎します。社会人の方への配慮として、右記のような制度が用意されています。

■社会人特別選抜

入学者の選抜は、一般選抜と社会人特別選抜に分け、別々の入学試験方式で選考を行います。社会人特別選抜は、筆記試験に代えて、希望する専門分野に関する口頭試問を含む面接及び出願書類の内容を総合的に判定して選考が行われます。

■長期履修制度

入学後、仕事の都合などで、標準修業年限（博士前期課程２年、博士後期課程３年）で修了することが困難であると認められる場合、前期課程では３年もしくは４年、後期課程では４年もしくは５年まで修業年限を延長することができます（入学時に申請）。なお、授業料は、前期課程２年分、後期課程３年分を実際の修業年数で分割することになります。

入試ガイド
平成 27 年度入学者選抜試験概要

※ 各種募集要項でも合わせてご確認ください。

募集人員

学部 / 学科	入学定員	募集人員										
		一般選抜			特別選抜					AO 入試（社会人）	編入学	
		前期日程	後期日程	合　計	推薦入学	帰国子女	社会人	外国人留学生	地域推薦		一　般	A　O
看護学部	90	40	10	50	36	若干名	—	4 人以内	若干名	若干名	10	若干名
看護学科	90	40	10	50	36	若干名	—	4 人以内	若干名	若干名	10	若干名
事業構想学部	200	75	40	115	70	若干名	若干名	15 人以内	若干名	—	—	—
事業計画学科	100	35	20	55	35	若干名	若干名	10 人以内	若干名	—	—	—
デザイン情報学科	100	40	20	60	35	若干名	若干名	5 人以内	若干名	—	—	—
食産業学部	125	59	24	83	36	若干名	若干名	6 人以内	若干名	—	若干名	—
ファームビジネス学科	42	20	8	28	12	若干名	若干名	2 人以内	若干名	—	若干名	—
フードビジネス学科	52	25	10	35	15	若干名	若干名	2 人以内	若干名	—	若干名	—
環境システム学科	31	14	6	20	9	若干名	若干名	2 人以内	若干名	—	若干名	—
合　計	415	174	74	248	142	若干名	若干名	25 人以内	若干名	若干名	10+ 若干名	若干名

※ 入学定員には編入学分を含みません

平成 26 年度入学者選抜結果

学部 / 学科	入学者数（合計）※1	推薦入学						一般選抜 前期						一般選抜 後期					
		募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	実質競争倍率※2	入学者数（推薦）	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	実質競争倍率※2	入学者数（前期）	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	実質競争倍率※2	入学者数（後期）
看護学部	94	36	96	96	36	2.7	36	40	165	158	49	3.2	48	10	148	77	11	7.0	9
看護学科	94	36	96	96	36	2.7	36	40	165	158	49	3.2	48	10	148	77	11	7.0	9
事業構想学部	208	70	114	114	77	1.5	77	75	272	268	94	2.9	94	40	350	198	41	4.8	33
事業計画学科	105	35	51	51	38	1.3	38	35	129	125	47	2.7	47	20	182	102	20	5.1	18
デザイン情報学科	103	35	63	63	39	1.6	39	40	143	143	47	3.0	47	20	168	96	21	4.6	15
食産業学部	134	36	72	72	36	2.0	36	59	256	238	73	3.3	67	24	517	246	32	7.7	28
ファームビジネス学科	46	12	19	19	12	1.6	12	20	86	80	24	3.3	20	8	183	92	14	6.6	13
フードビジネス学科	54	15	43	43	15	2.9	15	25	107	100	31	3.2	30	10	176	76	11	6.9	8
環境システム学科	34	9	10	10	9	1.1	9	14	63	58	18	3.2	17	6	158	78	7	11.1	7
合　計	436	142	282	282	149	1.9	149	174	693	664	216	3.1	209	74	1,015	521	84	6.2	70

※ 1 入学者数（合計）には、社会人、外国人留学生が含まれています。　※ 2 実質競争倍率＝受験者数／合格者数

学生数

※平成 26 年 4 月 1 日現在

学部 / 学科	1 年			2 年			3 年			4 年			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
看護学部	10	84	94	8	90	98	3	106	109	8	101	109	29	381	410
看護学科	10	84	94	8	90	98	3	106	109	8	101	109	29	381	410
事業構想学部	89	119	208	81	132	213	79	133	212	97	132	229	346	516	862
事業計画学科	52	53	105	39	67	106	40	67	107	46	70	116	177	257	434
デザイン情報学科	37	66	103	42	65	107	39	66	105	51	62	113	169	259	428
食産業学部	46	89	135	51	89	140	57	85	142	60	73	133	214	336	550
ファームビジネス学科	11	36	47	16	30	46	23	23	46	16	29	45	66	118	184
フードビジネス学科	15	39	54	16	41	57	14	45	59	22	34	56	67	159	226
環境システム学科	20	14	34	19	18	37	20	17	37	22	10	32	81	59	140
合　計	145	292	437	140	311	451	139	324	463	165	306	471	589	1,233	1,822

平成 26 年度出身高校所在都道府県別入学者数

出身高校所在都道府県名等	看護学科			事業計画学科			デザイン情報学科			ファームビジネス学科			フードビジネス学科			環境システム学科			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
北海道	2	0	2	0	1	1	1	2	3	0	0	0	0	2	2	0	1	1	3	6	9
青森県	0	6	6	2	1	3	0	5	5	0	3	3	0	3	3	1	1	2	3	19	22
岩手県	0	3	3	3	3	6	1	10	11	0	6	6	1	1	2	1	0	1	6	23	29
宮城県	7	50	57	41	36	77	23	32	55	5	13	18	9	14	23	7	8	15	92	153	245
秋田県	1	10	11	1	1	2	3	3	6	1	1	2	0	2	2	1	0	1	7	17	24
山形県	0	1	1	1	5	6	1	6	7	1	1	2	2	5	7	3	0	3	8	18	26
福島県	0	6	6	2	2	4	3	4	7	1	4	5	0	4	4	4	1	5	10	21	31
東北小計	8	76	84	50	48	98	31	60	91	8	28	36	12	29	41	17	10	27	126	251	377
関東	0	1	1	1	1	2	1	2	3	1	1	2	1	3	4	1	2	3	5	10	15
中部	0	6	6	1	1	2	2	2	4	1	5	6	1	4	5	1	0	1	6	18	24
近畿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	2
中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
九州・沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	9	9	0	2	2	2	0	2	2	1	3	0	3	3	2	1	3	6	16	22
合計	10	92	102	52	53	105	37	66	103	12	36	48	15	41	56	22	14	36	148	302	450

※ 編入学分を含みます

入学金・学費・奨学金

学費・入学時における学生諸経費（平成 26 年度実績）

入学金	県内出身者	282,000 円
	県外出身者	564,000 円
入学時学生諸経費	看護学部	84,474 円（新入生）
		55,474 円（編入生）
	事業構想学部	59,060 円
	食産業学部	57,560 円（新入生）
		35,330 円（編入生）
授業料	年額	535,800 円
		（前期・後期、半額ずつ納付）
	納付時期	［前期］４月 30 日
		（平成 26 年度は５月 31 日）
		［後期］10 月 31 日

授業料の減免・分割納付・納付猶予

減　　免　一定基準以上の成績、及び経済的要件を満たす場合、申請により、全額又は半額免除される場合があります。

※平成 26 年度は、東日本大震災により被災した世帯の学生に対する授業料減免を実施しました。

分割納付　経済的理由で授業料の一括納付が困難な場合、申請により、分割納付を認める場合があります。

納付猶予　経済的理由で授業料を指定納期までに納付することが困難な場合、申請により、納付猶予を認める場合があります。

奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構奨学金

経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し貸与されます。

種類	貸与月額（平成 26 年度）
第一種（無利子償還）	自宅：30,000 円／ 45,000 円｜自宅外：30,000 円／ 51,000 円
第二種（有利子償還）	30,000 円／ 50,000 円／ 80,000 円／ 100,000 円／ 120,000 円

※貸与期間：採用年度から標準修業年まで。
※高校等での予約採用以外は、毎年４月に説明会を行い、奨学生を募集します。

その他の奨学金

各種団体等の奨学金は、毎年４月に学内掲示板等でお知らせします。

［交通情報］









大和キャンパス｜**大学本部**｜**看護学部**｜**事業構想学部**｜　〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

宮城大学事務部（大学全般）TEL022-377-8205　FAX022-377-8282　（入試担当）TEL022-377-8333　（大学見学）TEL022-377-8693

キャリア開発センター（就職関連）TEL022-377-8216

公共交通機関	仙台空港	仙台空港アクセス鉄道 約25分	JR仙台駅	地下鉄仙台駅	南北線 約15分	地下鉄泉中央駅	泉中央駅 バスのりば ③⑥	宮城交通バス 泉パークタウン車庫前行き（宮城大学経由） 約30～35分	宮城大学・仙台保健福祉専門学校前
				仙台駅西口 バスのりば ②	宮城交通バス　宮城大学・仙台保健福祉専門学校前行き 約50分				
自家用車（東北道利用）	泉I.C.	大崎方面→宮城県図書館方面へ 約15分							宮城大学 大和キャンパス
	泉PAスマートI.C.（ETC専用）	泉パークタウン・寺岡方面へ 約10分							

太白キャンパス｜**食産業学部**｜　〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立二丁目2番1号

宮城大学事務部（大学全般）TEL022-245-1076　FAX022-245-1534　（入試担当）TEL022-245-1051　（大学見学）TEL022-245-1058

キャリア開発センター（就職関連）TEL022-245-1175

公共交通機関	仙台空港	仙台空港アクセス鉄道 約20分	JR長町駅	長町駅 東口バスのりば③ 又は 西口バスのりば④	（長町南駅経由）約25分	宮城大学 食産業学部前
	JR仙台駅	東北本線 約5分			宮城交通バス いずれも仙台南ニュータウン又は日本平行き	
	地下鉄仙台駅	南北線 約10分	地下鉄長町南駅	長町南駅 バスのりば④	約20分	
	仙台駅西口 バスのりば⑦	宮城交通バス　仙台南ニュータウン又は日本平行き 約40分				
自家用車（東北道利用）	仙台南I.C	秋保温泉方面→人来田交差点右折 約10分				宮城大学 太白キャンパス

宮城大学のことをもっと知りたい方は

宮城大学webサイトで!!

パソコン・スマホで
今すぐアクセス

宮城大学 検索

http://www.myu.ac.jp/

本学の詳しい情報がわかる入試関連イベントの最新情報や各種資料請求はこちらです！









Open Campus 2014 オープンキャンパス 2014

**宮城大学への入学を考えている高校生・保護者のために、
大学の施設や講義内容を公開するオープンキャンパスを開催します。
特に、夏は企画運営を学生が中心となって、秋は大学祭と併せて開催されるため、
学生生活を直に体験できる良い機会となっています。
申込不要で自由にご参加いただけます。詳しくは本学ホームページをご覧ください。**

http://www.myu.ac.jp/site/oc/



春のオープンキャンパス 講義開放Week

6月9日[月]～13日[金] 両キャンパス(全学部)



夏のオープンキャンパス

7月27日[日] 大和キャンパス(看護学部・事業構想学部)
7月20日[日] 太白キャンパス(食産業学部)

秋のオープンキャンパス[大学祭と併催]

10月中旬 大和キャンパス(看護学部・事業構想学部)
10月中旬 太白キャンパス(食産業学部)

公立大学法人
宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

各種募集要項の請求方法等

入学者選抜に関する細目を記載した募集要項及び出願に必要な書類等の請求方法や配布時期は、次のとおりです。
なお、推薦入学に係る募集要項については、本学から高等学校及び中等教育学校へ直接配布します。
下記問い合わせ先までご連絡ください。

1 「テレメール」を利用して請求する	2 「モバっちょ」を利用して請求する	3 大学に直接請求する
下記いずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。 **■インターネット（24 時間受付）** **http://telemail.jp/** ※パソコン・携帯電話各社共通アドレス **■自動音声応答電話** IP 電話 **050-8601-0101**	携帯電話、スマートフォン、パソコンからアクセスしてください。 **http://djc-mb.jp/myu2/** お急ぎの方は宅配便のご利用もできます。	郵送で請求する場合、返信用封筒（角形２号封筒（Ａ４判資料が入る大きさ）に下記に記載の送料分の切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を記入）を下記問い合わせ先に送付してください。なお、必ず、大学に送付する封筒に希望する募集要項等の種別を朱書きしてください。 各キャンパスの窓口で受け取ることもできます。

資料名	送 料	配布予定時期
一般選抜募集要項	250 円	平成 26 年 11 月中旬
大学案内 ＋ 一般選抜募集要項	400 円	平成 26 年 11 月中旬
特別選抜（帰国子女・社会人・外国人留学生）募集要項	250 円	平成 26 年 10 月上旬
看護学部 AO 入試（社会人枠）募集要項	205 円	平成 26 年 7 月上旬

●詳細は、宮城大学 webサイト［ http://www.myu.ac.jp/site/exam/seikyuu.html ］で確認できます。

大和キャンパス｜大学本部｜看護学部｜事業構想学部｜　〒 981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1
太白キャンパス｜食産業学部｜　〒 982-0215 宮城県仙台市太白区旗立二丁目 2 番 1 号
問い合わせ先 事務部学務課入試グループ（大和キャンパス）Tel: 022-377-8333
（太白キャンパス）Tel: 022-245-1051